

八代市スポーツ振興計画



スポーツで創る元気やつしろ

(平成31年4月改定)

はじめに

市民一人ひとりがスポーツに親しみ、実践することで、心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域づくりを行うことを目的に、平成21年度から平成29年度までの9年間の本市のスポーツ振興と今後の方向性を示す「八代市スポーツ振興計画」を平成21年3月に策定し様々な事業を展開してきました。

計画前期、国においては平成22年8月に「スポーツ立国戦略」の策定、平成23年8月にはスポーツ振興法が50年ぶりに全部改正され、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされる「スポーツ基本法」が施行されるなど、スポーツを取り巻く環境に大きな変化がありました。

これを踏まえ、計画の基本理念、計画期間、施策目標など、基本的な考え方は従来の計画を踏襲していますが、計画策定から4年を経過した平成26年度の計画見直しと併せて、9カ年の施策事項の目標達成状況および現状と課題をもとに、スポーツに関する市民アンケートの結果やスポーツ推進審議会での審議を経て「八代市スポーツ振興計画」の見直しを行いました。

スポーツは、青少年の心身の健全な発達を促し、豊かな心や思いやりの心といった青少年の健全育成につながるとともに、スポーツを通じた交流により、住民相互の新たな連携と絆を深め、地域への誇りと愛着心を育み、スポーツによる地域コミュニティの醸成にもつながります。

また、スポーツ大会の誘致や開催を図ることで、スポーツ活動による経済効果を生み、スポーツによる地域振興と地域活性化へ大きく寄与するものであり、今まで以上に地方自治体におけるスポーツ振興は重要な責務となっています。

市民の皆様が様々な形でスポーツを楽しまれることで、夢や感動を享受し、スポーツを通じた健康で明るく豊かな生活が送れる「元気なやつしろ」の実現に向け、更なる取り組みを進めてまいります。

結びに、本計画の見直しにあたりご尽力いただきました八代市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめアンケートにご協力いただいた多くの市民の皆様、スポーツ関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成31年4月

八 代 市 長

八代市スポーツ振興計画 目次

計画見直しにあたって

1	計画見直しの趣旨	1
2	計画見直しの背景	1
3	計画の性格	3
4	計画の期間	3
5	基本理念	3

第1章 子どものスポーツ振興

1	現状と課題	4
2	施策の目標	4
3	計画9年間での目標達成状況	4
4	推進方策	6
	（1）幼児期における運動・スポーツの推進	6
	（2）子どもを惹きつけるスポーツの推進	6
	（3）学校体育の推進	6
	（4）運動部活動等の推進・充実	6
5	具体的な取組	7
	（1）保育所、幼稚園での運動・外遊びの積極的導入	7
	（2）保護者への啓発	7
	（3）小学校でのスポーツの普及推進	7
	（4）学校体育研究指定校成果の活用	7
	（5）実技指導者の研修会、講習会への参加促進	7
	（6）複数校合同運動部、総合運動部の奨励	8
	（7）スポーツ少年団活動の推進	8
	（8）八代っ子クラブの推進	8

第2章 地域スポーツの振興

1	現状と課題	9
2	施策の目標	9
3	計画9年間での目標達成状況	10
4	推進方策	10
	（1）地域における継続したスポーツ活動の拠点づくり	10
	（2）スポーツ推進委員の資質の向上と適正配置	10
	（3）地域の誰もが実践できるスポーツ環境づくり	11

5	具体的な取組	11
	(1) 総合型地域スポーツクラブの育成	11
	(2) 地域に根ざしたスポーツ活動の(拠点)づくりの推進	11
	(3) スポーツ推進委員研修の充実	11
	(4) 保育所、幼稚園、学校と連携した子どもの運動・スポーツの推進	12
	(5) 高齢者のスポーツ活動の推進	12
	(6) 障がい者のスポーツ活動の推進	12
	(7) スポーツボランティアの育成と組織化の推進	12
	(8) スポーツクラブの把握	12
	(9) 健康づくりのための運動に関する知識の普及啓発の推進	12
	(10) スポーツをとおしての仲間づくり	13

第3章 競技スポーツの振興

1	現状と課題	14
2	施策の目標	14
3	計画9年間で目標達成状況	14
4	推進方策	15
	(1) 競技者人口の拡大と競技力の向上	15
	(2) スポーツスキルの活用	15
	(3) スポーツにおける安全の確保	15
5	具体的な取組	15
	(1) スポーツ教室や実技講習会の開催	15
	(2) 一貫指導体制への取組の試行	15
	(3) 指導者の養成・確保	15
	(4) 全国レベルの大会の開催	16
	(5) 各種大会等参加への理解促進	16
	(6) クラブ登録制度の促進	16
	(7) プロスポーツ団体・企業スポーツとの連携	16
	(8) スポーツ医・科学の活用	16
	(9) トップアスリートの育成	16
	(10) スポーツ大会・合宿の誘致	17

第4章 スポーツ活動を広げる環境づくり

1	現状と課題	18
2	施策の目標	18
3	計画9年間で目標達成状況	18
4	推進方策	18

(1) 公共スポーツ施設の整備・充実	18
(2) スポーツ施設の利用促進	19
(3) 施設の管理・運営の体制強化	19
(4) 身近な施設の有効活用	19
5 具体的な取組	19
(1) スポーツ施設の整備・充実	19
(2) 各種競技に対応した設備・用具の充実	19
(3) 誰もが安心して利用できる施設の整備	19
(4) スポーツ情報の提供	19
(5) 公共スポーツ施設の民間委託への推進	20
(6) 学校体育施設の整備充実	20
(7) 公園や緑地、民間施設の活用促進	20
(8) スポーツツーリズムの推進	20
(9) 観戦スポーツの推進	20
(10) 各種競技団体の連携	21

参考資料

1 平成28年度体力・運動能力調査結果比較	22
2 八代市スポーツ・運動に関するアンケート集計結果	25
3 八代市スポーツ振興計画見直しに係る八代市スポーツ推進審議会諮問	49
4 八代市スポーツ振興計画見直しに係る八代市スポーツ推進審議会答申	50

計画見直しにあたって

1 計画見直しの趣旨

八代市は、平成21年3月に「八代市スポーツ振興計画（計画期間：平成21年度～平成29年度）」を策定し、平成26年6月に見直しを行いながら、この計画に基づきスポーツの振興に努めてきました。

この間、国においては平成23年8月に「スポーツ基本法（平成23年法律第78号）」が施行され、平成24年3月に「スポーツ基本計画」、平成29年3月に「第2期スポーツ基本計画」が策定されています。

熊本県では平成26年2月に「熊本県スポーツ推進計画」が策定され、平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」では「平成30年度末に熊本市を除くすべての小学校の運動部活動は社会体育へ移行する」ことになりました。

また、少子高齢化や情報化の進展、健康志向の高まりやライフスタイルの変化による価値観の多様化などを背景に、スポーツ活動においても、新たな取組が求められています。

こうした状況を踏まえ、現在の八代市のスポーツに関する状況・ニーズを十分に把握し、より一層、市民一人ひとりが生涯にわたって自主的にスポーツに親しむことにより「スポーツで創る元気やつしろ」の実現を目指し、「八代市スポーツ振興計画（以下「計画」という。）」の見直しを行うものです。

2 計画見直しの背景

(1) スポーツ基本法の施行とスポーツ基本計画の策定

○スポーツ基本法

平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」には基本理念として以下の8つが掲げられ、地方自治体は、この理念にのっとりスポーツに関する施策を策定し、それを実施する必要があります。

- ① 自主的・自立的なスポーツ活動
- ② 学校・スポーツ団体・家庭・地域の相互連携
- ③ 人々の交流促進・地域間の交流基盤整備
- ④ スポーツを行う者の心身の健康の保持・安全の確保
- ⑤ 障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるようにするための配慮
- ⑥ 競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携・効果的な実施
- ⑦ 国際相互理解の増進・国際平和への寄与
- ⑧ スポーツに対する国民の幅広い理解・支援

○スポーツ基本計画

平成29年2月に策定された第2期「スポーツ基本計画」には、今後5年間で総合的かつ計画的に取り組むべき施策として以下の4つが掲げられ、国民・スポーツ団体

等、地方公共団体に期待される役割が明記されました。

- ① スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実
- ② スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
- ③ 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備
- ④ クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

(2) 熊本県スポーツ推進計画

スポーツ推進の目指す姿を「スポーツによる人が輝く豊かなくまもとづくり」とし、基本的施策として以下の4つが掲げられています。

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② 誰もが参加できるスポーツスタイルの拡大
- ③ 魅力あるスポーツイベントの充実
- ④ 競技力の向上と世界に羽ばたくアスリートの育成

(3) 熊本県教育委員会が平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」に以下の4つが掲げられています。

- ① 小学校の運動部活動は社会体育へ移行する
- ② 中学校・高等学校の運動部活動は社会体育と連携する
- ③ 児童生徒の発育発達に応じた運動部活動を行う
- ④ 指導者の資質向上を図る

(4) アンケートの実施

本計画を見直すため、平成29年1月から7月にかけて市民を対象に「八代市スポーツ・運動に関するアンケート（以下「アンケート」という。）」を実施し、2,267人（子ども355人、大人1,912人）の回答を得られました。アンケート結果から見える市民ニーズや課題を検証し見直しを行う必要があります。

(5) 目標の達成状況

アンケート結果では、「地域スポーツの振興」の目標であるスポーツの実施率は、わずかながら目標を下回っている結果でした。また「スポーツ活動を広げる環境づくり」については、スポーツ施設の維持管理・施設運営など概ね評価を満たすものとなっています。

また、「競技スポーツの振興」では、達成はしていないものの一定の効果は認められることから、目標達成に向け継続した取組が必要です。

しかし、「子どものスポーツ振興」においては目標値を大きく下回るという結果となり、今後、目標達成に向け子どもの運動・スポーツに親しむ環境づくりに向けた取組が必要です。

(6) 生涯スポーツへの取組

スポーツを「する人」だけではなく、プロスポーツに代表されるトップレベルの競技の観戦など「みる人」、また指導者など「支える（育てる）人」にも着目し、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整える必要があります。

3 計画の性格

- (1) この計画は、スポーツ基本法に基づき本市が目指すスポーツ振興の基本的方向を定める計画であり、スポーツ基本計画及び熊本県スポーツ推進計画を参考に「八代市スポーツ振興計画見直しについて 答申」（平成30年9月、八代市スポーツ推進審議会）を踏まえ策定しました。
- (2) 平成30年3月策定の第2次八代市総合計画基本構想「しあわせあふれる ひと・もの 交流拠点都市 “やつしろ”」の実現に向けた「スポーツに親しむまちづくり」を目指したものです。
- (3) 行政はもとより、地域や学校、企業や関係団体等あらゆる立場の市民や関係者が一体となり、それぞれの役割を果たすことにより、社会全体でスポーツの振興に取り組む方向性を示すものです。

4 計画の期間

この計画の期間は、2019年度から2026年度までの8年間とします。なお、計画期間の中間年である2022年度に進捗状況を検証し、必要があれば見直しを行います。

5 基本理念

「スポーツで創る元気やつしろ」

すべての市民が主体的にスポーツに親しみ、継続してスポーツ活動を実践することで、市民の心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域づくりを目指し「スポーツで創る元気やつしろ」を基本理念とします。

第1章 子どものスポーツ振興

1 現状と課題

子どもの体力については、文部科学省が実施している「体力・運動能力調査」によると、平成13年から約10年にわたり概ね低下傾向に歯止めがかかってきており、子どもの体力向上に関するこれまでの施策は、全体的に効果は出てきていますが、昭和60年頃と比較すると体力は依然として低い状況にあります。

平成28年度に実施された「体力・運動能力調査」において、本市の数値はTスコア※1平均による県との比較を行うと低い状況にあり、体力・運動能力の向上に向けた、より一層の取組が必要です。

アンケートでは、運動やスポーツを行わない理由として最も多かったのが「スポーツや運動が下手・苦手だから」「スポーツや運動が好きではない、興味がないから」等がありましたが、「スポーツや運動（1回30分以上）をどれぐらいの頻度で行っていますか。」の問いに対し週3～5回以上行くと答えた子どもが69%以上あり、今後とも小さいころからスポーツや運動に親しむことにより興味をもたせ、運動に対する苦手意識の払拭につなげるとともに、外遊びの奨励など幼少期からの取組と、保護者への啓発が必要です。

更には過疎化・少子化が原因により地域によっては団体競技ができないところもあり、地域のクラブ等と連携し、多くの種目に触れる機会を増やす取組も必要です。

2 施策の目標

小さいころからスポーツに親しむことは人格形成の基礎を養う重要なものであり、子どもが生涯にわたってスポーツに親しめる健康な体をつくり、体を動かすことの楽しさや心地よさを体験し習慣づけることにより体力の向上を図ります。

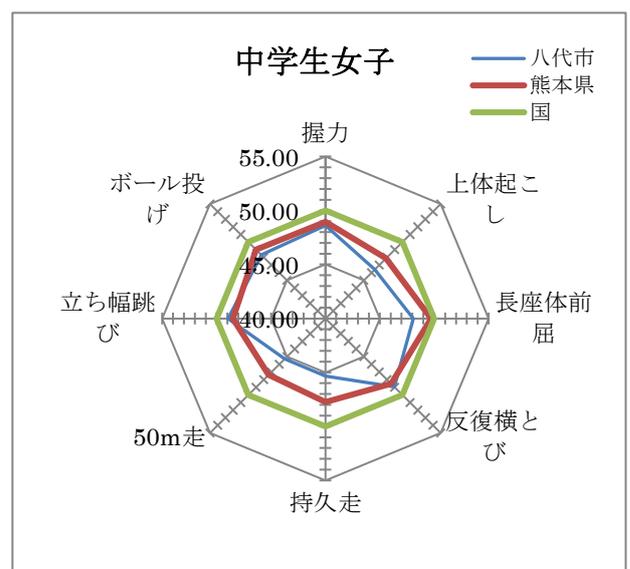
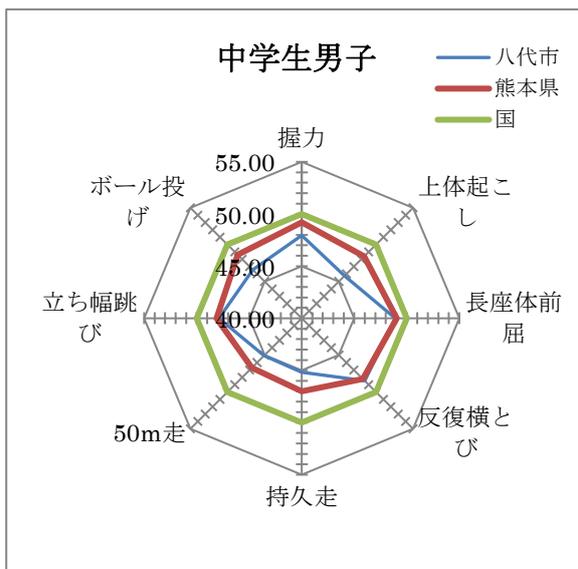
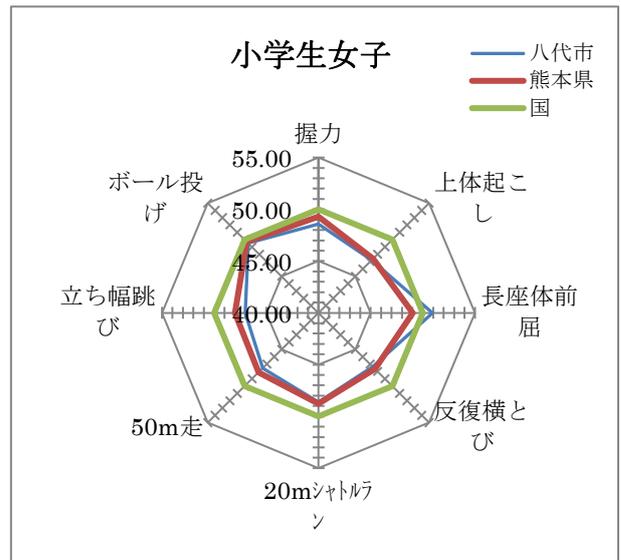
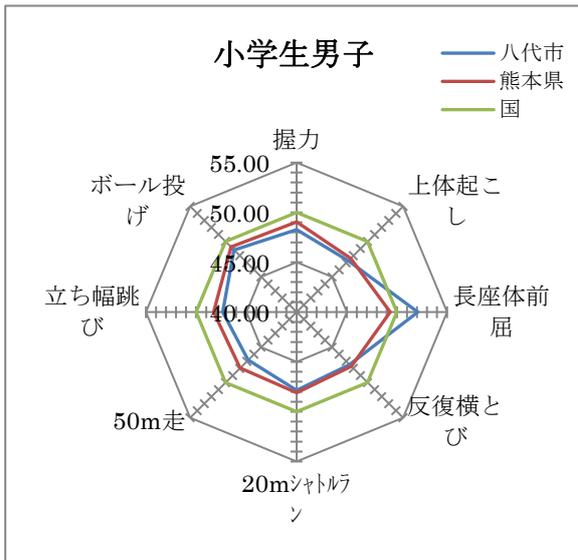
目標値：小・中学校での体力・運動能力調査の平均が全項目（小中学生男女合計：32種目）で熊本県平均を上回る。

3 計画9年間での目標達成状況

平成28年度に実施された「体力・運動能力調査」では、32種目中5種目が県平均を上回っているものの、目標値を大きく下回る結果となりました。

また、本市の数値を計画策定前の平成19年度数値と比較した場合、半分の種目が計画前より向上し、半分が低下しているという結果となりました。

平成28年度体力・運動能力（小・中学生Tスコア平均）



【 資料：平成28年度 熊本県体力・運動能力調査結果 】

<注釈>

※1 Tスコアについて・・・多様なテストによって測定された記録の単位（kg、回、秒など）は様々であり、そのままでは単位の異なる記録の優劣を比較できないため、同一尺度により標準化することが必要になります。その一つがTスコアであり、平均が50、標準偏差が10となるようにしたものです。

ただし、時間がデータとなる50m走・持久走は、分子にマイナスを掛ける。

$$Tスコア = \frac{(\text{本市(本県)の平均値}) - (\text{全国の平均値})}{(\text{全国の標準偏差})} \times 10 + 50$$

4 推進方策

(1) 幼児期における運動・スポーツの推進

子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しむためには、幼児期から体を動かすことの楽しさや心地よさを体験し習慣づけることが大切です。

また、保護者にも外遊びや運動・スポーツの重要性について正しく理解される必要があります。

このため、家庭や地域、保育所、幼稚園において運動・スポーツに親しむ機会を増やしていくよう取り組みます。特に家庭においては保護者も一緒になって楽しめるような運動を日常生活の中に取り入れるよう推進します。

(2) 子どもを惹きつけるスポーツの推進

子どもたちが運動・スポーツに取り組むことは、競争や協同の経験をとおして公正、協力、責任などの社会的態度や自らを律し、仲間を思いやるなどの豊かな心を育成する子どもの生きる力を育む上で重要なことです。

小・中学生の運動に対する意識としては、ほとんどの子どもが運動に対して好意的ですが、苦手意識を持っている子どももいます。

このため、運動・スポーツの楽しさや爽快感を感じさせ苦手意識を克服し、自発的にスポーツに親しめるような取組を推進します。

(3) 学校体育の推進

運動やスポーツとの楽しい出会いや喜びの体験は、スポーツのすばらしさを理解し、生涯にわたり積極的にスポーツに親しむとともに体力向上の基礎づくりの観点から極めて重要となります。

このため、特に小学校の体育に関しては、専門的な知識や技能を備えた指導者による指導・助言を取り入れるような取組を推進します。

(4) 運動部活動等の推進・充実

運動部活動は、体力の向上や健康の保持増進を図るとともに、自立性、協調性、社会性、責任感、連帯感など豊かな人間性を育成するうえで大変有意義です。

このため、バランスのとれた心身の発達を促すことを基調として、生徒に過度な負担がかからないよう適切に休養日を設けながら、個人の技能や特性に応じた指導方法を取り入れつつ、学校や地域の特色を生かした活動の展開を推進します。

また、熊本県教育委員会が平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」により「平成30年度末に熊本市を除くすべての小学校の運動部活動は社会体育へ移行する」こととなりました。

このため、少子化に伴うチーム編成の困難さ、保護者や児童のニーズの多様化、また、指導者の不足などの課題に向き合い、児童にとって適切なスポーツ環境を確保する取組を推進します。

児童の健全育成を主たる目的とし、これまで学校を中心に行われてきた八代市の運動部活動の良さを残しつつ、地域が中心となって活動していく八代方式の社会体育ク

ラブ「八代っ子クラブ」の取組を推進します。

5 具体的な取組

(1) 保育所、幼稚園での運動・外遊びの積極的導入

- ① 幼児期からの運動・スポーツへの関わりを深めるため、外遊びなどいろいろな遊びをとおした運動の中で、十分体を動かすようなさまざまな身体活動を積極的に奨励します。
- ② 「外遊び」を定着させるため、親子や家族で気軽に参加できるスポーツ教室やイベントの実施、地域スポーツクラブの活動の中に取り入れるなど、スポーツへのきっかけとなる「外遊び」など遊びをとおした運動の普及・促進に努めます。
- ③ 保育士や教職員を対象に体育実技講習会などを開催し、指導力の向上を図ります。
- ④ 運動に興味を持たせ、積極的に運動に参加できる環境づくりを推進します。

(2) 保護者への啓発

- ① 保護者が子どもの体力や運動・スポーツ活動の重要性について正しく認識するための啓発や親子で一緒に楽しめるスポーツイベントを推進します。
- ② ※「幼児期運動指針」を踏まえ、地域の実情に応じた、幼児期からの運動遊びの習慣化などの身体活動の大切さやそのあり方について、そして望ましい生活習慣を身に付けさせることなど保護者への理解を深める取組を進めます。

※幼児期運動指針：平成24年3月文部科学省により策定され、運動習慣の基盤作りをとおして、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性、創造性などを育むことを目指した指針です。

(3) 小学校でのスポーツの普及推進

- ① スポーツに親しむきっかけづくりとして、気軽楽しめるニュースポーツの体験イベントや放課後児童クラブ・放課後子ども教室などでのスポーツ活動を推進します。
- ② 低学年の子どもに対し、日常でのスポーツ活動や外遊びなどによる身体活動の普及に地域のスポーツクラブ等関係団体と連携し取り組みます。

(4) 学校体育研究指定校成果の活用

- ① 学校体育研究指定校の成果を小・中学校が積極的に取り入れ、授業や学校の体育的活動等に反映させるよう研修会等で周知を図ります。

(5) 実技指導者の研修会、講習会への参加促進

- ① 教職員の指導力の向上及び安全管理と事故防止を図るため、各種の研修会や講習会への積極的な参加を促すとともに、学校体育では「体育指導の手引」、学校部

活動では「運動部活動指導の手引」等県作成の資料等の積極的な活用を奨励します。

(6) 複数校合同運動部、総合運動部の奨励

- ① 子どものスポーツ活動の場を確保するため、部員不足に悩む小学校及び中学校において、複数校が合同で活動するクラブや部活動を奨励します。
- ② バランスのとれた心身の発達を促すため、競技性の追及にこだわらず様々なスポーツ体験ができる総合運動部について、子どもたちのニーズや学校の実情に応じた取組を奨励します。
- ③ 学校運動部の指導等について、地域のスポーツ指導者・スポーツクラブ等との連携を奨励します。

(7) スポーツ少年団活動の推進

- ① スポーツ活動やさまざまな社会活動の体験を通じて、青少年の健全育成を目的とするスポーツ少年団の活動を推進するため、指導者の養成と団員ならびに単位団の拡大の取組を奨励します。

(8) 八代っ子クラブの推進

- ① 学校部活動の良さを残しつつ、地域が中心となって活動していく八代方式の社会体育クラブ「八代っ子クラブ」の取組を推進します。

第2章 地域スポーツの振興

1 現状と課題

内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」(平成28年11月)によると週1回以上スポーツを行う成人の割合は42.6%となっていますが、年に1回もスポーツを行わない人の割合も36.4%と、3人に1人は、全くスポーツを行っていない結果となっています。

アンケート結果では週1回以上スポーツを実施する人が国の数値を上回る48%という結果となりました。しかし、全くスポーツをやらない人も32%と高い割合にあります。

スポーツや運動を行う理由や目的として、「健康維持、体力の向上」「運動不足の解消」となっていることから、健康維持・体力向上・運動不足の解消などを目的としたスポーツの推進が求められており、無理なく手軽に取り組めるスポーツの普及が必要です。併せてスポーツ医・科学を積極的に活用することで、効果的な運動方法、けがの予防方策、食生活の在り方など、安全・安心した生涯スポーツの普及に努める必要があります。

一方、スポーツを実施しなかった理由について「仕事や家事、育児、介護、勉強などで忙しく時間がないから。」との回答が最も多く、次いで「特に理由はない。」「機会がないから。」などとなっており、身近な場所で気軽にスポーツに参加できる機会の提供やスポーツ環境の整備、個々のライフスタイルに応じたスポーツを実践するためのきっかけづくりなど継続した取組が必要です。

本市では市内21校区(地域)ごとに、スポーツ推進委員を委嘱し、市民が気軽に取り組めるニュースポーツの実技指導をはじめスポーツ活動組織の育成、スポーツ活動への住民理解の啓発などを主な職務として活動しています。

また、それぞれに「校区体育協会」が組織されており、各種のスポーツ・レクリエーション活動や体育大会を実施するなど、地域住民の体力向上や健康増進、さらには住民相互の親睦・融和を目的とした、住民による自主的活動と組織運営が展開されています。

さらに、市内4か所に総合型地域スポーツクラブが設立され、子どもから高齢者まで、地域ニーズに応じた各種教室を開催し、生涯スポーツの推進を行っています。

今後も、スポーツ推進委員、校区体育協会、総合型地域スポーツクラブをはじめ、あらゆる団体・組織が連携・協調しながら住民ニーズに対応した活動内容の検討はもちろんのこと、住民が日常的にスポーツを実施できるような環境づくりへの取組が求められます。

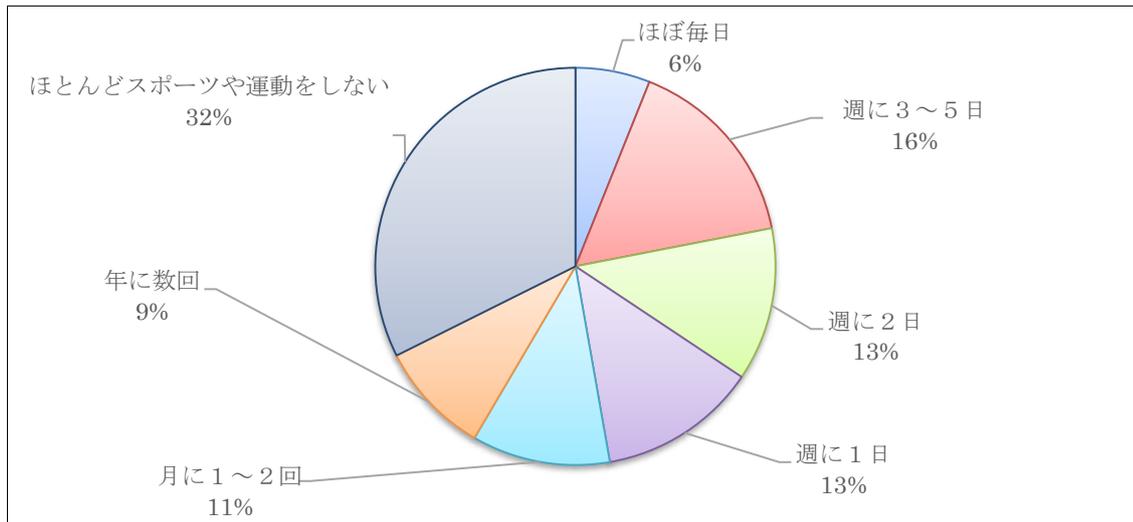
2 施策の目標

単なるスポーツ活動や健康づくりにとどまらず、地域づくりの一環となるよう市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

目標値：①成人のスポーツ実施率50%の維持、向上
 ②成人のスポーツ未実施率30%の低減
 (スポーツ実施率：週1回以上スポーツを実施する割合)

3 計画9年間での目標達成状況

アンケートでは、成人のスポーツ実施率は48%、未実施率が32%となり、わずかに目標を達成することができませんでした。



平成28年度実施八代市スポーツ・運動に関するアンケートより

4 推進方策

(1) 地域における継続したスポーツ活動の拠点づくり

スポーツ推進委員や校区体育協会、総合型地域スポーツクラブが中心となり、地域住民が日常生活における健康づくり、体力づくりとして自ら主体的にスポーツを継続して実践できる環境づくりに取り組み、地域の「だれもが」、「いつでも」、「どこでも」、そして「いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するための地域に根ざしたスポーツ活動の場（拠点）づくりを推進します。

特に、地域における子どもの体力向上の観点から、保育所、幼稚園、小学校、中学校と連携しながら、放課後や休日における子どもの居場所としての運動・スポーツ活動を展開するとともに、成人の生活習慣病の予防や健康づくりとしての運動・スポーツの推進として、関係団体の参画や協力を得ながら地域全体で取り組んでいく必要があります。

また、高齢者や障がい者の生きがいをづくりやさまざまな世代の交流による地域の連帯意識の高まり、それによる各種地域活動の活性化など、単なるスポーツ活動や健康づくりだけにとどまらず、「ひとづくり」、「まちづくり」、「生きがいをづくり」としての相乗効果も期待できることから、地域づくりの一環として積極的に推進します。

(2) スポーツ推進委員の資質の向上と適正配置

スポーツ推進委員は、スポーツ指導者の資格を有し、熱意と能力があり、地域にお

いて効果的に連絡調整を行うことができる者等へ委嘱します。地域住民が運動・スポーツに関心を持ち、主体的かつ自律的にスポーツ活動を実践できるような環境づくりのコーディネーターとして、地域におけるスポーツ振興の中心的役割が期待されています。このため、多様化・高度化する住民のスポーツニーズの的確な把握と適切な対応ができるよう、より一層の資質の向上を図るための研修内容の充実を図ります。

特に、地域における継続したスポーツ活動の拠点として期待される総合型地域スポーツクラブの育成にあたっては、スポーツ推進委員が自ら中心的役割を果たせるよう資質の向上に向けた研修に取り組みます。

(3) 地域のだれもが実践できるスポーツ環境づくり

高齢者の健康維持や生きがいづくりの一つとして、また、障がい者の社会参加の場として、地域住民の相互理解と交流を深めながら、年齢、性別、能力、障がいの有無に関わらず、だれもが地域社会の一員としてスポーツに親しむ環境づくりを推進します。

5 具体的な取組

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

市内の小中学校区又は中学校区を基本とした地域エリアごとにおいて、地域の実情に応じた総合型地域スポーツクラブの育成を目指す取組を進めます。

① 総合型地域スポーツクラブの普及啓発

総合型地域スポーツクラブの意義や効果について広く周知するための普及啓発を行い認知度の向上を促進します。

② 地域推進スタッフによる検討会議等の設置、支援

クラブの設立にあたって、推進スタッフの派遣により検討会議の設置、拠点施設等の確保にあたり施設所管機関との調整等、設立または育成への様々な支援を行います。

③ クラブマネージャー、指導者、スタッフの育成

クラブ設立にあたり、熊本県体育協会等の関係団体と連携しながら、クラブマネージャー、スタッフ等の養成・育成を図ります。

④ 総合型地域スポーツクラブの連携強化

効率的・安定的なクラブ運営を行う上で、他のクラブや県内クラブ連絡協議会、他のスポーツ団体等と効果的に連携することによる情報の共有化を図ることを奨励します。

(2) 地域に根ざしたスポーツ活動の場（拠点）づくりの推進

① それぞれの地域がスポーツ推進委員や校区体育協会と連携し、それぞれの地域の実情に応じた地域スポーツ活動の拠点となるような活動を推進します。

(3) スポーツ推進委員研修の充実

① 競技スポーツからニュースポーツ、レクリエーション活動などスポーツ活動全般に関する正しい知識と技能を修得し、市民の日常にスポーツレクリエーション

活動が積極的に取り入れられるよう各種研修の充実を図ります。

- ② 子どもや子育て世代の女性、高齢者、障がい者、家族などすべての地域住民がスポーツに親しめる環境を構築するため、地域の実情や住民ニーズなどを取り入れたニュースポーツの研究、また講習会等への積極的な参加及び自主研修等の実施、そして研修の成果の活用と実践を行います。

(4) 保育所、幼稚園、学校と連携した子どもの運動・スポーツの推進

- ① 子どもの体力向上を目指して、スポーツ推進委員や校区体育協会、総合型地域スポーツクラブをはじめ競技団体などの各種スポーツ団体が連携して、幼児や児童生徒の運動・スポーツ活動を支援する体制づくりを進めます。

(5) 高齢者のスポーツ活動の推進

- ① 高齢者のスポーツ実践のきっかけづくりとして、地域で気軽にそして手軽に参加できるスポーツ活動を推進します。

(6) 障がい者のスポーツ活動の推進

- ① 障がい者団体との連携を図るなどにより、ニーズの把握に努め、障がいのある人が安心してスポーツを楽しめるよう、用具や施設の整備に取り組みます。
- ② ユニバーサルスポーツを普及するなど、共通の目的意識を持ってスポーツを楽しむことのできる環境づくりを進めます。
- ③ 障がいのある人に対して適切な対応ができる指導者が必要であり、講習会等を積極的に活用し、指導者の育成に努めます。

(7) スポーツボランティアの育成と組織化の推進

- ① ボランティア団体等と連携して、さまざまなスポーツ活動を支えるボランティアスタッフや指導者を育成するとともに、その組織化を進め、だれもがスポーツに親しむための環境づくりに取り組みます。

(8) スポーツクラブの把握

- ① 地域で活動を行っている各種スポーツクラブの現状を把握することで、市民へのスポーツ情報提供としての活用とともに、各種団体と連携し誰もが楽しく参加できるスポーツの普及啓発に取り組みます。

(9) 健康づくりのための運動に関する知識の普及啓発の推進

- ① ライフステージや個人の健康状態に応じた適切な運動指導を通じて、身体活動量の増加と、運動習慣定着のための知識の普及・啓発を推進します。
- ② スポーツ医・科学を活用することで、効果的な運動方法、けがの予防方策、食生活の在り方など、安全・安心した生涯スポーツの普及に努めます。
- ③ スポーツに関する保険制度について普及を促すなど、事故対応に係る意識の啓発を促進します。

(10) スポーツをとおしての仲間づくり

- ① 単なるスポーツ活動や健康づくりだけにとどまらず、「ひとづくり」、「まちづくり」、「生きがいくくり」をすることにより、仲間づくりができるような環境づくりに取り組みます。

第3章 競技スポーツの振興

1 現状と課題

身近なスポーツ選手の活躍は、市民の誇りと喜び、夢と希望をもたらし、スポーツへの関心、意欲を高揚させるとともに、地域社会全体に大きな活力を生み出します。

近年、熊本県内ではサッカーやバスケットボールのプロスポーツチームが設立され、地域に根ざした活動が行われており、プロスポーツチームとの関係の構築は、競技力の向上はもとより、まちおこしの観点からも注目されています。

本市においては国民体育大会における熊本県代表選手のうち本市選手の割合が目標とする「10%」には届いていませんが、年々割合は向上傾向にあります。また、熊本県民体育祭も常時、上位の成績をおさめ、世界大会で活躍する選手が出るなど競技レベルは向上傾向にあります。

これまで本市では、NPO法人八代市体育協会を中心に競技力向上への自主的かつ主体的な取り組みが行われ全国及び国際レベルの大会においても本市出身の選手が数多く活躍しています。2020年には東京五輪が開催されることもあり、ジュニア競技選手を含め更なる競技力を向上させるためには、競技者のみならず指導者においても、安全で合理的なトレーニングの実施やメンタルトレーニング、スポーツ障害の防止やけがの予防方策、栄養や食生活の在り方などスポーツ医・科学的知識の活用が欠かせなくなっています。

2 施策の目標

トップレベルのスポーツ大会の開催や誘致を促進することで、スポーツの振興に限らず、交流人口の拡大や地域経済の活性化につながります。また、国際大会や全国規模の大会で活躍できる技術・競技力を備えた選手を育成することにより市民のスポーツへの関心を高めるよう競技力の向上を図ります。

目標値：国民体育大会における熊本県代表選手のうち本市選手の割合が10%

3 計画9年間での目標達成状況

目標値には届いていませんが、数値は年々向上傾向にあります。また、熊本県民体育祭の総合成績・種目別成績も年々向上しています。

国民体育大会参加者比較表

大会	熊本県代表選手 (A)	八代市選手 (B)	割合 (B/A)
H20年 63回大会	407	16	3.93%
H21年 64回大会	431	16	3.71%
H22年 65回大会	432	23	5.32%
H23年 66回大会	400	20	5.00%
H24年 67回大会	416	29	6.97%
H28年 72回大会	445	36	8.09%

4 推進方策

(1) 競技者人口の拡大と競技力の向上

各種競技スポーツの競技力が向上していくことは、競技スポーツ人口の底辺の拡大につながります。また、競技スポーツ人口の底辺拡大は、競技力の向上につながり、競技力向上と競技スポーツ人口の拡大は、相乗効果となって、本市全体のスポーツの振興へとつながります。

そのため、初心者等を対象としたスポーツ教室や実技講習の開催、競技団体と中学・高校の運動部活動の指導者が連携・協力した指導体制の取組や競技レベルに応じた適切な指導など各種施策に取り組み、競技スポーツの振興に努めます。

(2) スポーツスキルの活用

競技力を向上させるためには、競技団体・企業・行政等地域における様々な団体が、スポーツ推進に関連し人材や施設、研究能力や指導能力等スポーツについて豊富なスキルを最大限に活用しつつ、連携・協働して取組むことが重要です。

今後は、それぞれの団体が共通認識を持ち一体となって競技スポーツの振興に取り組む体制づくりが必要です。

(3) スポーツにおける安全の確保

スポーツによって生じる事故・外傷・障害等の防止や軽減を図ることは、安全な環境のもとで日常的にスポーツに親しむために不可欠です。そのため、スポーツ医科学面からのトレーニングの実践など、高度な技術・指導力を備えた指導者の養成を推進します。

また、小・中学生においては、バランスのとれた心身の発達を促すことを第一とするとともに、一部に見られる勝利至上主義的な運動部活動の運営や児童生徒の心身の発達を軽視した過度の練習や試合のあり方を見直すことも肝要です。

5 具体的な取組

(1) スポーツ教室や実技講習会の開催

- ① 初心者や競技から離れていた市民を対象に競技スポーツへの取組を促します。
また、今まで盛んだった競技への参加を促し、競技人口の拡大に努めます。
- ② 中学・高校の運動部活動部員を対象に、合同の練習会や実技講習会を推進します。

(2) 一貫指導体制への取組の試行

- ① 競技団体と中学・高校の運動部活動の指導者の連携を図るため、指導者養成の講習会や合同練習会を実施します。
- ② 競技団体と中学・高校の指導者が連携し、一貫した指導理念や指導方法のあり方を研究し、一貫指導体制を構築します。

(3) 指導者の養成・確保

- ① 公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ全国競技団体等の認定指導者の資格取得を促進します。
- ② 競技ごとに認定指導者を登録し、地域のスポーツクラブ等指導を必要とする団体へ派遣することで、指導者の活動の場を確保します。
- ③ 勝利至上主義的なスポーツの運営や過度の練習や試合のあり方を見直すとともに、懲戒と体罰の区別等についてより一層適切な理解促進を図ります。

(4) 全国レベルの大会の開催

- ① 各競技団体が主体となって全国レベルの大会等を運営することで、競技団体の活性化と組織力の強化を図ります。
- ② トップレベルのプレーを間近にみることで、競技への関心と競技力の向上を促します。

(5) 各種大会等参加への理解促進

- ① 全国大会や国際大会等に選手又は競技役員として参加しやすいような環境づくりへ向け、所属企業・職域、団体の理解を促進します。

(6) クラブ登録制度の促進

- ① 競技人口の拡大を目的として、クラブ登録制度の促進を図ります。

(7) プロスポーツ団体・企業スポーツとの連携

近年、プロスポーツは地域に密着した活動に積極的に取り組むようになってきていることから、アマチュアスポーツとプロスポーツの連携を図ることは、地域スポーツからトップアスリートの育成まで幅広いスポーツ振興に取り組むことができます。

- ① プロスポーツ団体と連携・協働し観戦スポーツの開催、スポーツ教室等を実施することで、競技人口の拡大と競技力の向上を図ります。

(8) スポーツ医・科学の活用

競技力向上を目的とした練習方法などでは、安全で効果的な指導をとおした競技力の向上を目指すため、安全で合理的なトレーニングの実施やメンタルトレーニング、スポーツ障害の防止やけがの予防方策、栄養や食生活の在り方などスポーツ医・科学的知識の活用が欠かせなくなっています。

- ① 選手・指導者を対象とした講習会・研修会などにスポーツ医科学的な手法を取り入れ、スポーツ医・科学を活用した選手・指導者等の育成を図ります。

(9) トップアスリートの育成

東京五輪開催は、スポーツへの関心を高める絶好の機会であり、本市のスポーツ選手がオリンピックや国際大会などで活躍することは、市民に夢や希望を与え、スポーツ振興に大きな役割を果たすものと考えます。

- ① 各種スポーツ団体と連携を図り、優秀選手の育成・強化を図ります。

- ② 一流選手による講演会などを開催し、市民のスポーツへの関心を高めます。

(10) スポーツ大会・合宿の誘致

競技レベルの高い大会に接することは、市民の競技に対する理解を深めるなど、スポーツの普及・振興に大きく寄与し、特に子どもにとっては、憧れのトップレベル選手のプレーを間近でみることで、感動を覚え、将来の自分の夢を描き活動していく源にもなります。

また、国際大会、全国大会、九州大会などの大規模なスポーツイベントの開催及びスポーツ合宿の誘致は、人と人との国際交流や地域間交流を促進し、市外、県外から本市へ多くの方々が来訪されることで、宿泊業・飲食業等を中心に経済効果が見込まれるため、地域の活性化にも大きく寄与するものと考えられます。

スポーツイベントの誘致・開催の決め手となるのは、その地域のもてなしや食事、観光業などの対応の良さが決め手になります。特にスポーツイベントは、地域の絆を高める効果があり、年齢、国籍、性別、障がいの有無を超え、誰もが楽しめるという「アクセシビリティ」として市民の参加意識を高めていかなければなりません。

- ① 施設の整備等と併せて、大会及び合宿に係る誘致補助制度等によりスポーツ大会、合宿の誘致・開催を積極的に推進します。
- ② スポーツイベントの誘致・開催に向け、市民総参加による誘致活動と大会運営（ボランティア）を推進していきます。

第4章 スポーツ活動を広げる環境づくり

1 現状と課題

本市ではこれまで、市民が身近に利用できる施設から全国規模のスポーツ大会が可能な施設まで、さまざまなスポーツ施設の整備が進められてきました。

また、休館日の廃止やインターネット等を利用した予約システムの導入を図り利便性の向上に努めてきました。

アンケートでは、約9割の方が施設整備・運営状況については「不満がない」と回答されており、市民がスポーツ施設については、概ね満足されていることが伺えます。

しかしながら、設置から30年を超えるスポーツ施設も多く、耐用年数の経過した施設、耐震基準が満たされていない施設や老朽化に伴い安全性の確保や本来の機能が損なわれている事例も多くなっています。

また、障がい者の利用を進めるためのバリアフリー化や夏季のスポーツ活動における熱中症対策などが新たな課題となってきています。

さらに、大規模大会開催時における駐車場不足の問題などプロスポーツなどのトップレベルの競技を開催するには十分な環境が整っていません。

このような状況を踏まえ、平成24年12月に「八代市のスポーツ施設整備及び充実等に関する指針」を策定し、また平成29年3月に公共施設などの現状や将来の見通し、管理に関する基本的な方針をまとめた「八代市公共施設等総合管理計画」が策定されました。今後のスポーツ施設の整備については、この計画等に基づくファシリティマネジメントの概念を導入し、集約等を含めた効率的かつ効果的な配置や運営等に配慮した「個別施設計画」を作成し、計画的に進める必要があります。

また、市民アンケートでは、プロスポーツをはじめとするトップレベルの大会の観戦がニーズとして伺え、試合観戦型事業の実施が求められています。

2 施策の目標

市民の心身の健康づくりを促進し、「スポーツに親しむまちづくり」を目指すために市民のスポーツ活動の基盤としての役割を担えるよう、施設・機能の充実などスポーツ環境の整備を行うとともに、効率的な管理・運営の体制強化を図ります。

また、全国大会など大規模な大会が開催されることは、本市の魅力を発信できる絶好の機会であり、観光分野など様々な関係機関・団体と連携を図ります。

3 計画9年間での目標達成状況

アンケートでは、市民の約9割が施設整備・運営状況については「不満がない」と回答されており、適正な管理運営が図られていると考えられます。

4 推進方策

(1) 公共スポーツ施設の整備・充実

市民の多様なスポーツ活動を推進するため、計画的にスポーツ施設の整備を推進するとともに、市民がいつでも気軽に安心して利用できるよう、各公共スポーツ施設の

特性に応じた効果的で効率的な施設運営に努めます。

(2) スポーツ施設の利用促進

市民のスポーツ意欲を促進するため、市民が気軽に利用しやすいシステムづくりを図るとともに、市民の多様なニーズに合ったさまざまなメディアと連携し、スポーツ関連情報を提供します。

(3) 施設の管理・運営の体制強化

民間活力を導入したサービスの向上と効率的な施設の管理・運営のため、公益性を維持した施設・業務の民間運営への移行などに引き続き取り組みます。

(4) 身近な施設の有効活用

地域スポーツの拠点として、学校体育施設や公園・緑地等の施設設備の充実を図ります。

また、スポーツの場の拡大を図るため、市民のスポーツに親しむ機会が増えるよう、市内の企業や学校、民間スポーツクラブなどとの連携による総合的なスポーツ環境の整備を推進します。

5 具体的な取組

(1) スポーツ施設の整備・充実

- ① 本市のスポーツ施設の利便性を図るため、施設の整備・充実に努め、施設の改修等に当たっては、市民のスポーツニーズを踏まえながら、新たなスポーツ種目への対応を進めます。

また、山間部から平野部まで地域格差をなくすよう配慮します。

- ② 大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に向け、競技スペースや観覧席、空調設備や駐車場、立地場所や利便性など、効果的・効率的な大会運営等を考慮した大規模スポーツ大会の招致・実施が可能な施設整備に努めます。

(2) 各種競技に対応した設備・用具の充実

- ① 各種競技の実施や競技力向上に対応できる設備・用具を充実させるとともに、競技者の安全性に配慮した施設の整備を推進します。
- ② スポーツ用備品等の定期的な点検・適切な保管管理を図ります。

(3) 誰もが安心して利用できる施設の整備

- ① 新たに整備するスポーツ施設については、高齢者や障がい者など誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサル・デザインを積極的に導入するとともに、乳幼児を連れた方のための託児施設の整備等についても検討し、併せて施設の耐震化についても整備を進めます。

(4) スポーツ情報の提供

- ① スポーツ教室やスポーツ施設の予約・手続き、スポーツの基礎知識など市民が必要と考えるスポーツ情報の内容の充実を図り、市のホームページ、広報紙等をととしてスポーツ関連情報を提供します。

(5) 公共スポーツ施設の民間委託への推進

- ① 施設の設置目的や機能を損なわず、サービスの向上や経費削減が可能な民間委託などの導入を推進します。

(6) 学校体育施設の整備充実

- ① 学校体育施設の改修にあたっては、地域のスポーツニーズに対応できるよう機能・設備の充実を図るとともに、誰もが安心して利用できるよう、バリアフリー化やユニバーサル・デザインを積極的に導入するとともに、施設の耐震化についても整備を進めます。

(7) 公園や緑地、民間施設の活用促進

- ① 身近なスポーツ活動の場として、地域の公園や緑地の有効活用を図ります。

(8) スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムは、スポーツを見に行くための旅行およびそれに伴う周辺観光や、スポーツを支える人々との交流などスポーツに関わる様々な旅行のことを指します。

スポーツツーリズムを推進することによって、スポーツ観戦者・参加者の拡大や国際競技大会の招致・開催の増加による競技力向上を含めたスポーツ振興はもちろんのこと、地域が持つ自然の多様性や環境を活用し、スポーツという新たなモチベーションを持った訪日外国人旅行者を取り込んでいくだけでなく、国内観光旅行における需要の喚起と、旅行消費の拡大、雇用の創出にも寄与します。

2016年4月に発生した熊本震災により、甚大な被害が生じ、風評被害を含め観光を取り巻く状況は一変し、これからの復興にスポーツと観光の果たす役割は大きく、その両者が融合したスポーツツーリズムが発揮できる力は極めて大きいと考えます。

- ① スポーツ団体と観光団体等が連携を図ることにより、大会運営における宿泊や交通の手配、会場の確保などをワンストップで行う体制を整備し、スポーツ大会等の誘致と運営支援事業を実施することで、スポーツを通じた地域経済の活性化や観光の振興を図ります。
- ② 本市の自然環境を活用したラフティングやトレッキングなどのアウトドアレジャー、八代海ならではのマリンスポーツやオーシャンスポーツ、また山岳地域の強みを活かしたアウトドアスポーツを推進していきます。
- ③ 本市で実施される様々なイベントにスポーツ情報の提供を行い、スポーツや健康づくりへの関心を高めます。

(9) 観戦スポーツの推進

スポーツは「する」だけでなく、観て楽しむこともできます。スポーツとのかかわり方で「みる」ことは誰でも気軽に取り組めることから、スポーツの裾野を広げることにつながっていきます。特に、高いレベルのパフォーマンスは、観る者に感動を与え、スポーツへの関心や意欲を高めます。

- ① 観戦スポーツを推進することで、市民が高いレベルのスポーツにふれる機会の提供に努めます。

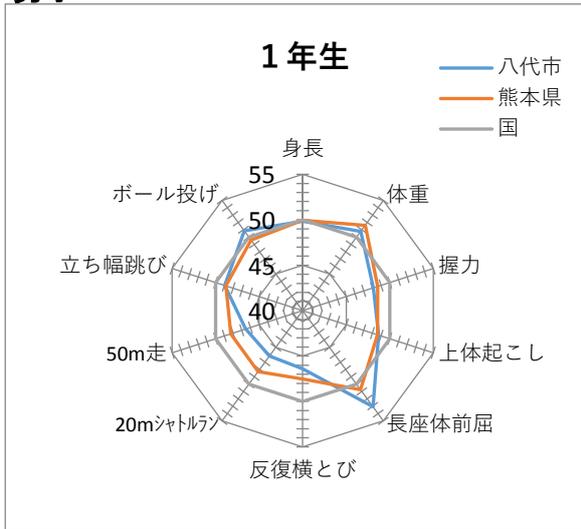
(10) 各種競技団体の連携

- ① 各種競技団体個別の連携だけでなく、NPO法人八代市体育協会を中心とした競技団体間の連携による活動を推進します。

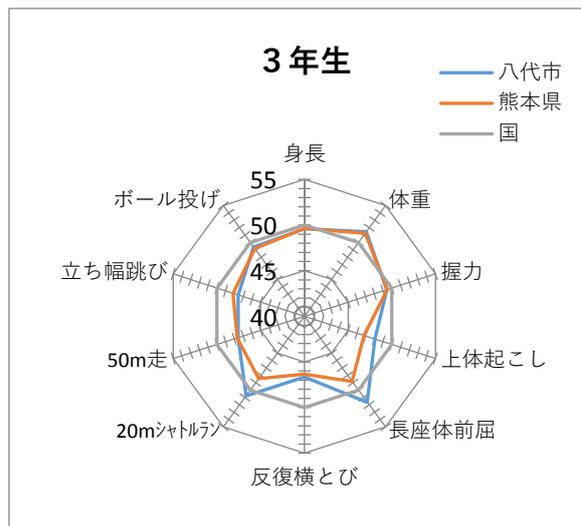
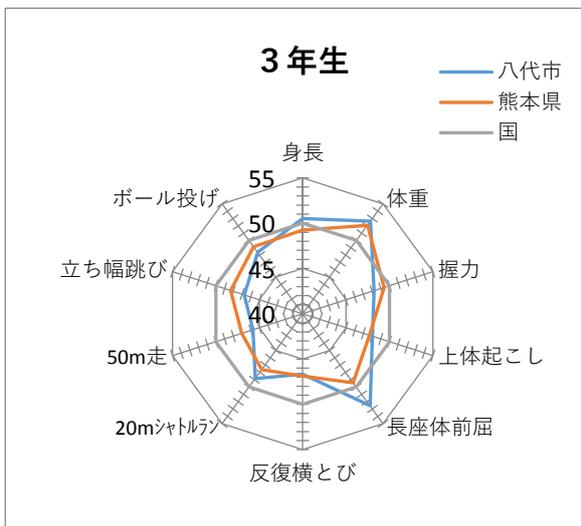
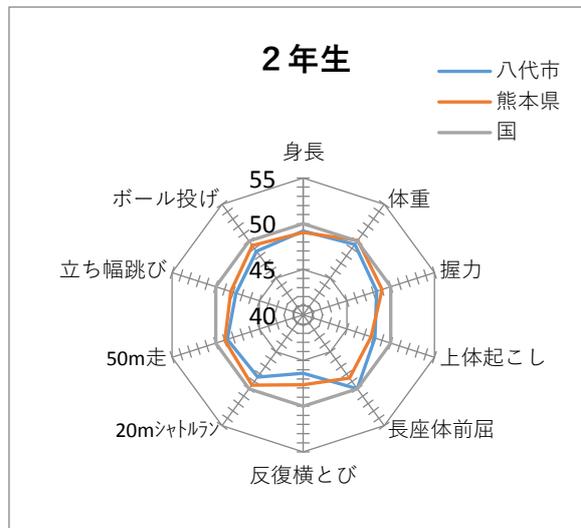
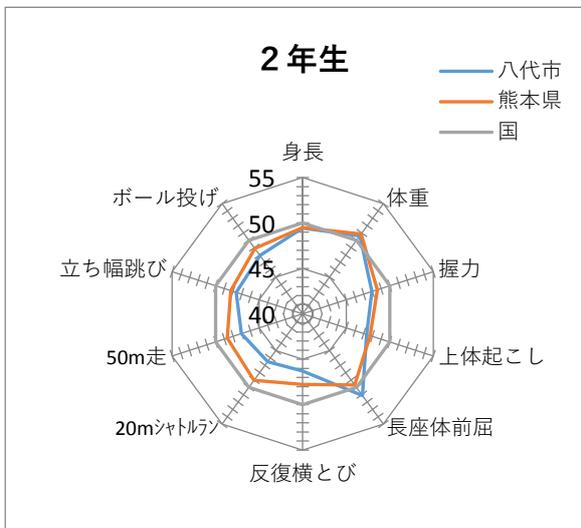
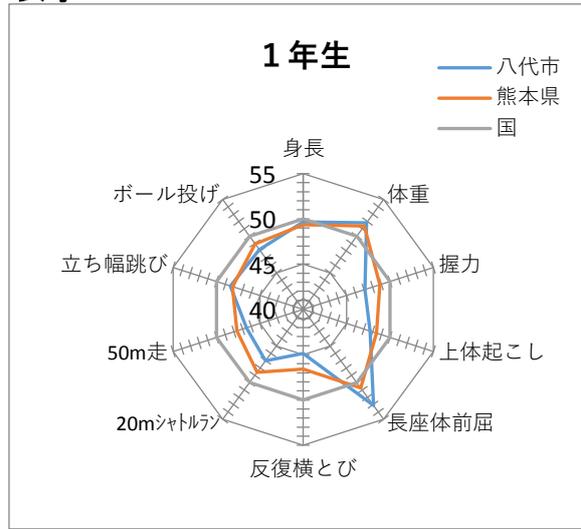
1. 平成28年度体力・運動能力調査結果比較

《小学生》

男子

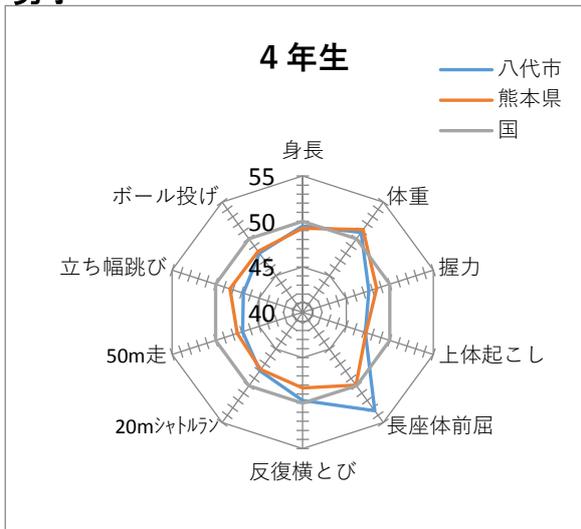


女子

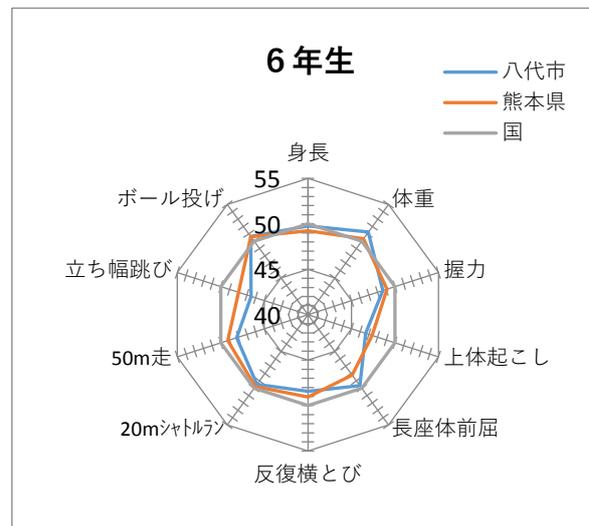
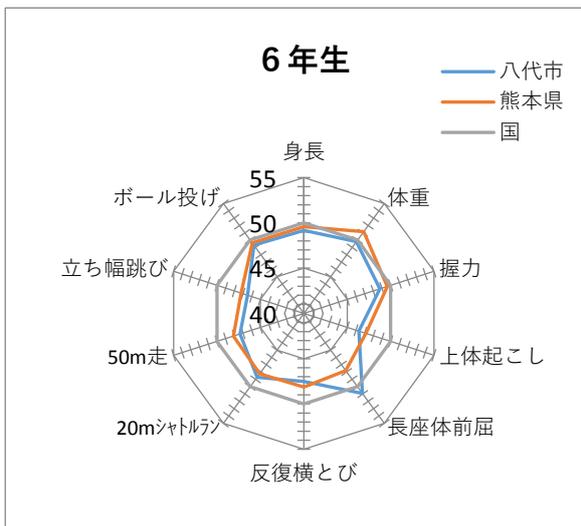
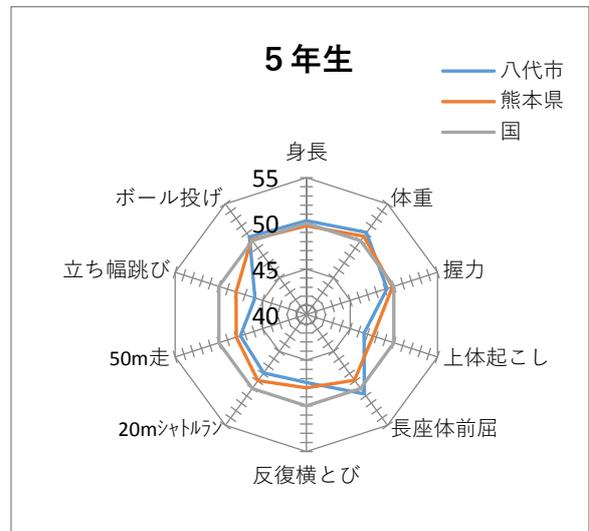
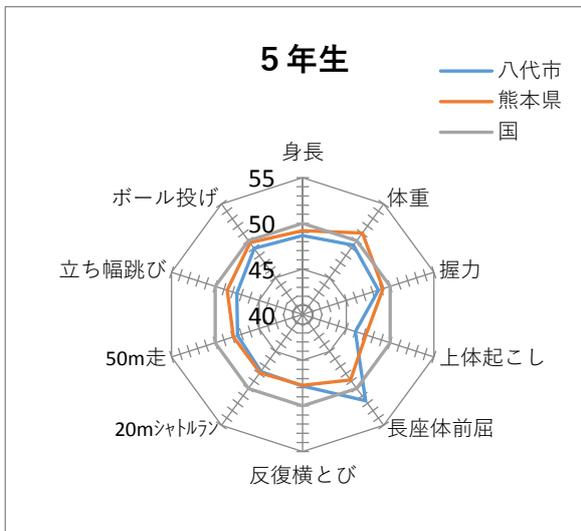
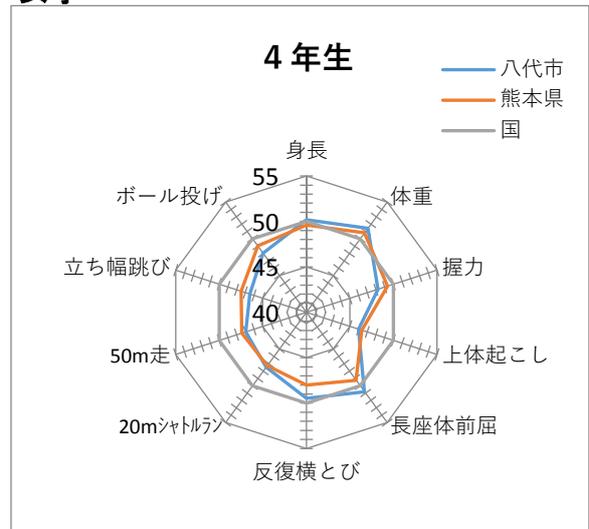


《小学生》

男子

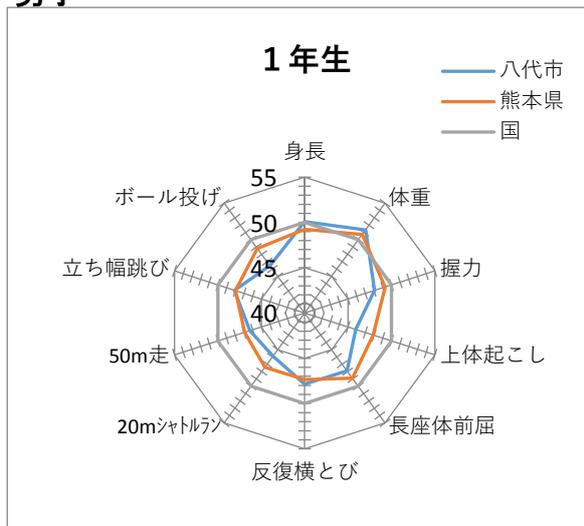


女子

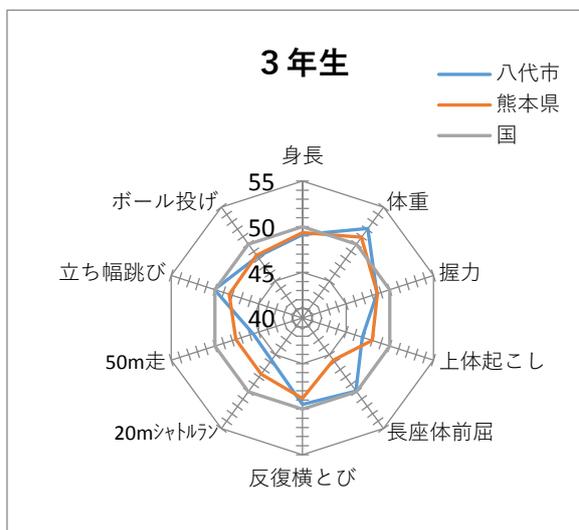
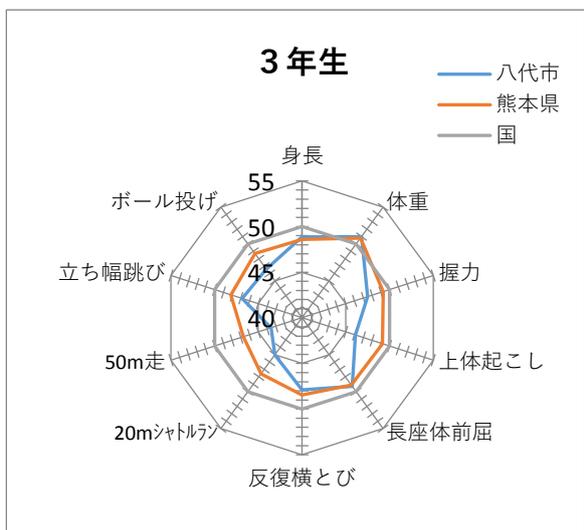
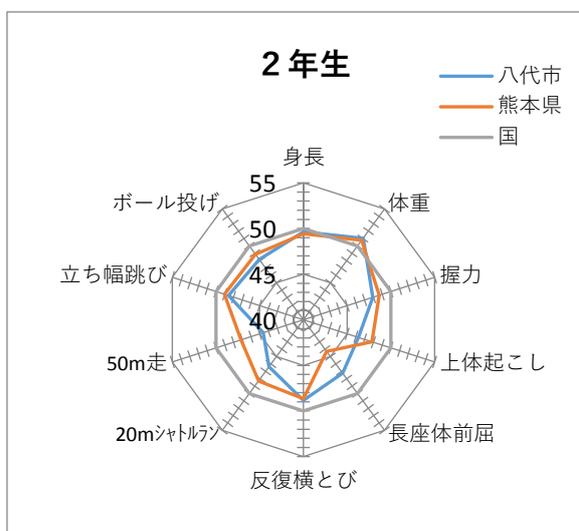
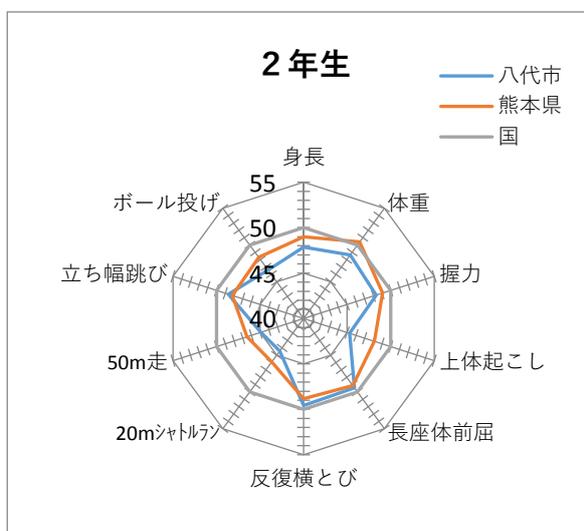
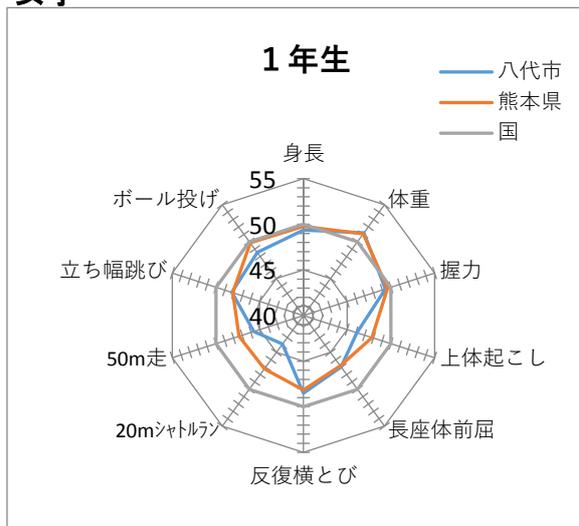


《中学生》

男子



女子



八代市 スポーツ・運動に関するアンケート 集計結果（小・中学生）

計画の見直しにあたり、市民のみなさんが日頃スポーツや運動についてどのような意見や考えを持ち、またそれらを実施しているか把握するため、スポーツに関するアンケートを平成29年1月～2月の間に実施しました。

調査は、小学校・市内27校中4校の5年生、中学校・市内15校中4校の2年生、合計355名にアンケートのご協力をいただき調査を行いました。

問1 あなたの性別を教えてください。

男性	女性	合計
183	172	355

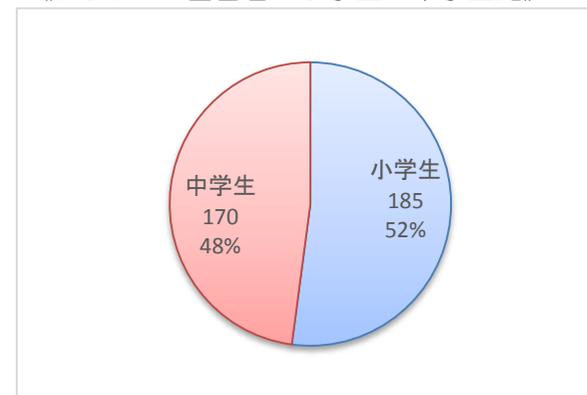
問2 あなたの学校を教えてください。

郡築小学校	36
八竜小学校	15
二見小学校	8
松高小学校	126
坂本中学校	18
二見中学校	10
八代第四中学校	96
八代第六中学校	46
合計	355

《グラフ1 回答者の男女比》



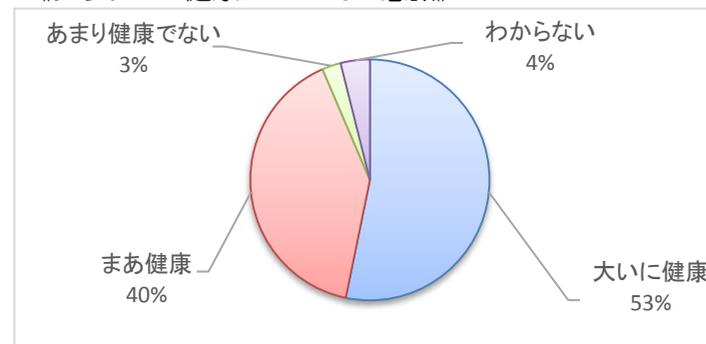
《グラフ2 回答者の小学生・中学生比》



問4. あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。（1つ選択）

大いに健康	189
まあ健康	143
あまり健康でない	9
わからない	14

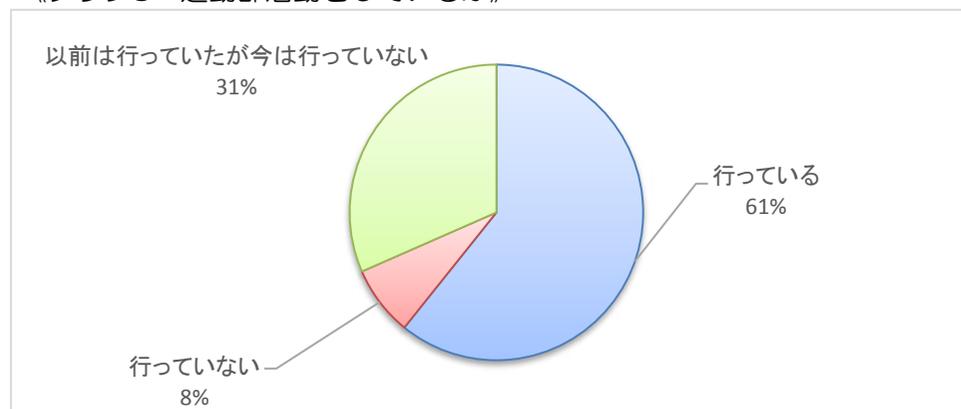
《グラフ4 健康についての意識》



問5. あなたは、学校の運動部活動を行っていますか。

行っている	214
以前は行っていたが今は行っていない	27
行っていない	111

《グラフ5 運動部活動をしているか》

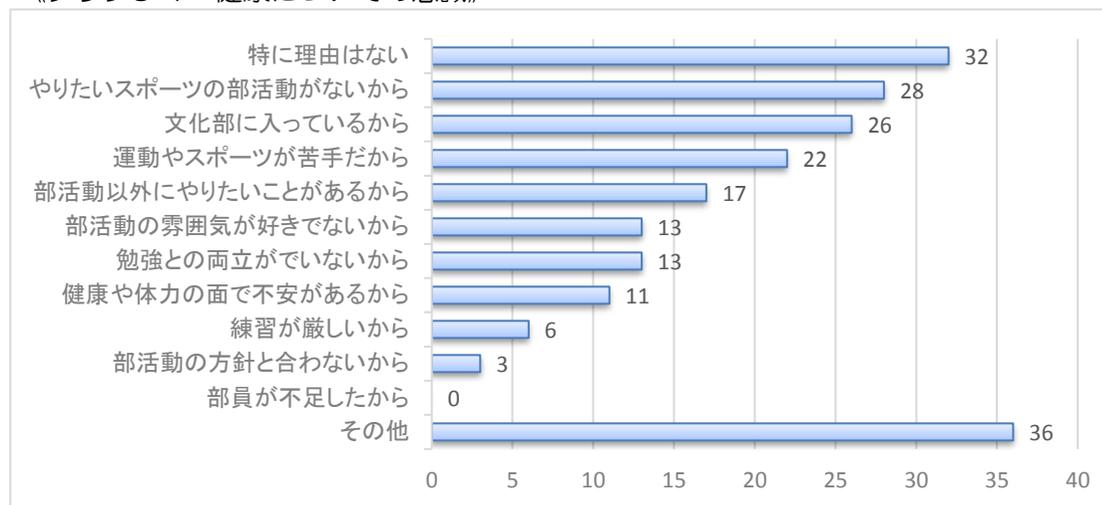


問5で「2. 以前は行っていたが今は行っていない」又は「3. 行っていない」と答えた人にお聞きします。

問5-1. 学校の部活動を行わない理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

特に理由はない（なんとなく）	32
やりたいスポーツの部活動がないから	28
文化部に入っているから	26
運動やスポーツが苦手だから	22
部活動以外にやりたいことがあるから	17
部活動の雰囲気が好きでないから	13
勉強との両立ができないから	13
健康や体力面で不安があるから	11
練習がきびしいから	6
運動部の顧問や指導者と合わないから	3
部員が不足したから	0
その他	36

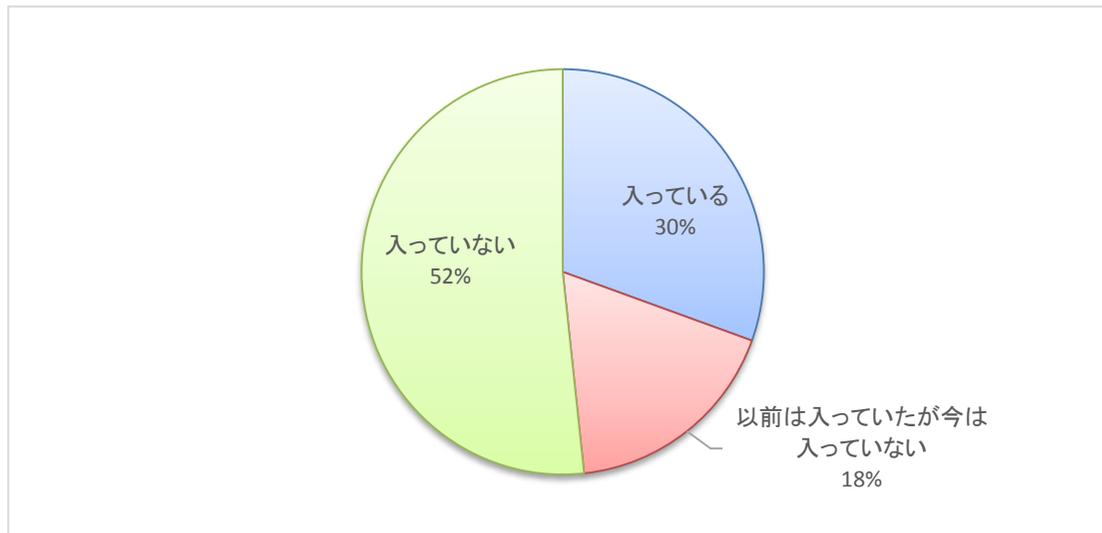
《グラフ5-1 健康についての意識》



問6. あなたは今、学校以外のスポーツクラブ（民間のスイミングクラブやサッカークラブなどや、地域のスポーツ少年団など）に入っていますか。
（1つ選択）

入っている	108
以前は入っていたが、今は入っていない	63
入っていない	183

《グラフ6 学校以外のスポーツクラブの加入状況》

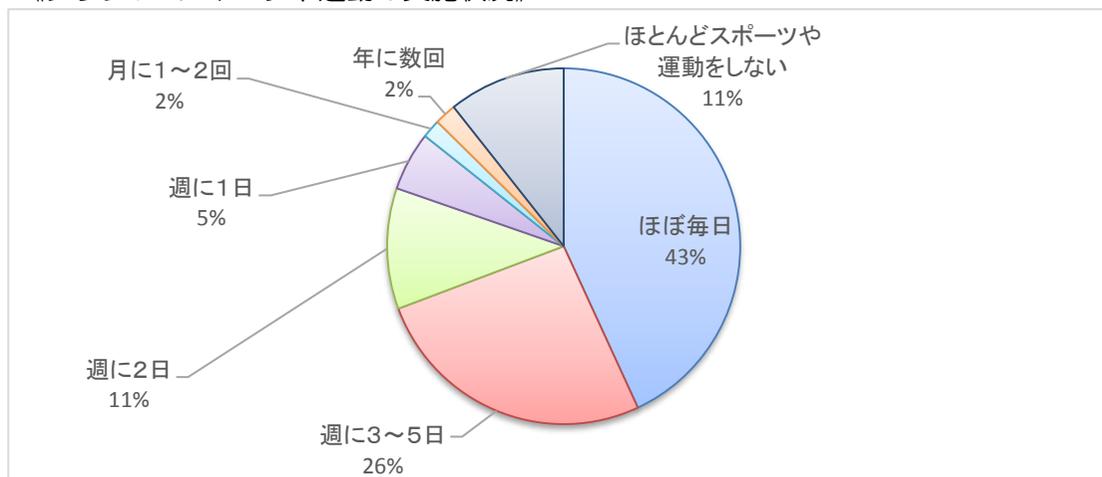


※以下の質問のスポーツ・運動には、学校の部活動は含みますが、学校の授業や学校行事（運動会など）は除きます。

問7. あなたは、スポーツや運動（1回30分以上）をどれぐらいの頻度で行っていますか。（1つ選択）

ほぼ毎日	153
週に3~5日	93
週に2日	39
週に1日	19
月に1~2回	6
年に数回	7
ほとんどスポーツや運動をしない	38

《グラフ7 スポーツや運動の実施状況》

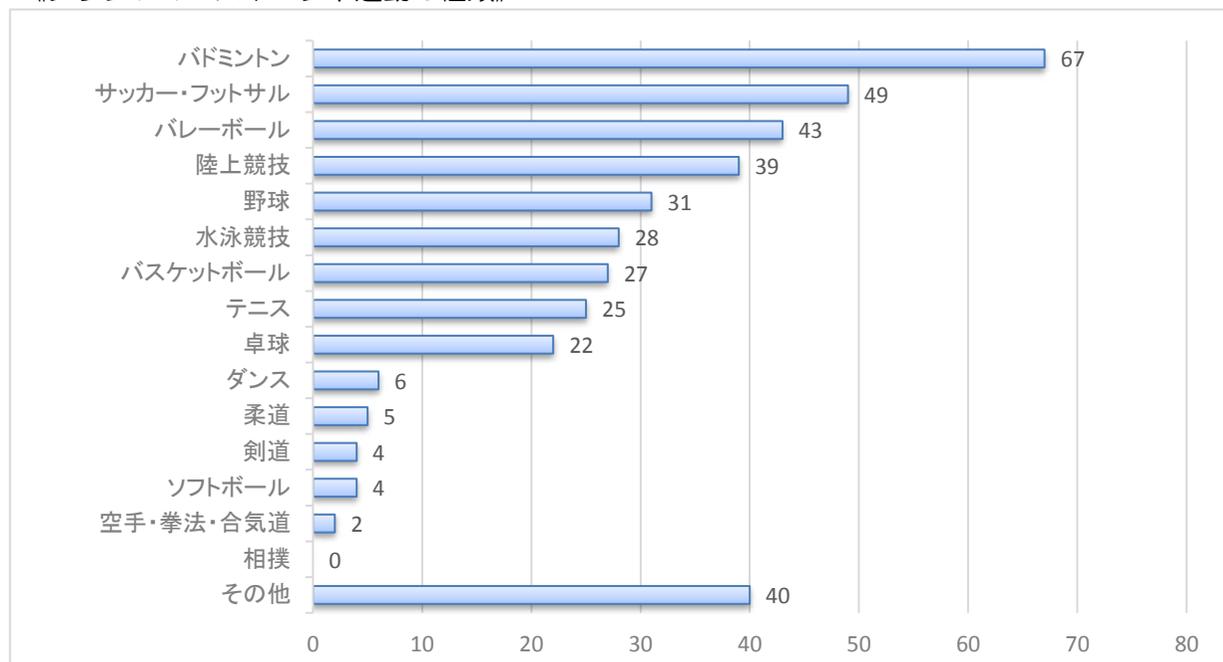


問7で1～6を選んだ方のみにお聞きします。

問7-1. 具体的にどのようなスポーツや運動を行っていますか？（あてはまるものすべて）

バドミントン	67
サッカー・フットサル	49
バレーボール	43
陸上競技	39
野球	31
水泳競技	28
バスケットボール	27
卓球	22
テニス	25
ダンス	6
柔道	5
剣道	4
ソフトボール	4
空手・拳法・合気道	2
相撲	0
その他	40

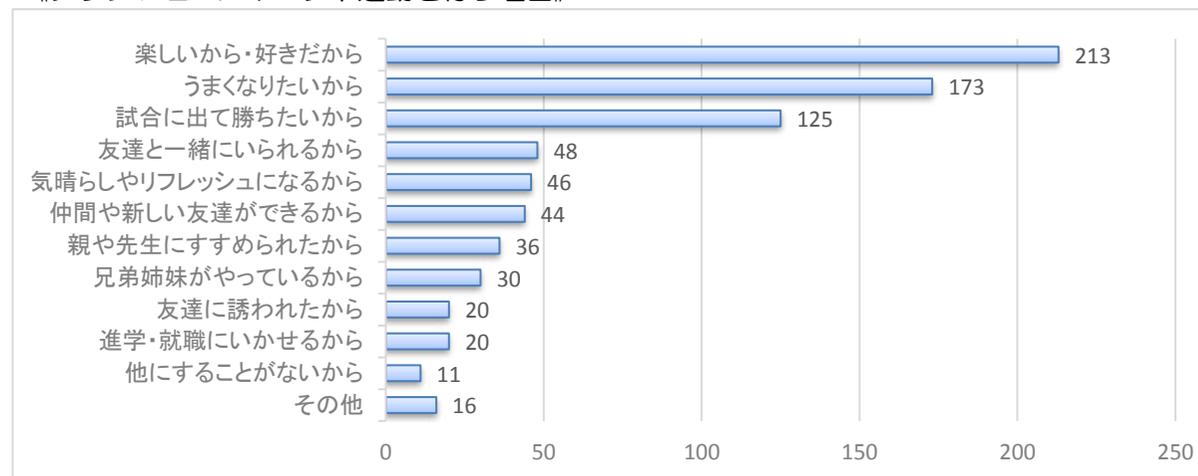
《グラフ7-1 スポーツや運動の種類》



問7-2. あなたが、スポーツ・運動を行う理由は何ですか。主な理由を3つまで選んで答えて下さい。（3つまで選択）

楽しいから・好きだから	213
うまくなりたから	173
試合に出て勝ちたいから	125
友達と一緒にいられるから	48
仲間や新しい友達ができるから	44
進学・就職にいかせるから	20
気晴らしやリフレッシュになるから	46
友達にさそわれたから	20
兄弟姉妹がやっているから	30
親や先生にすすめられたから	36
他にすることがないから	11
その他	16

《グラフ7-2 スポーツや運動を行う理由》

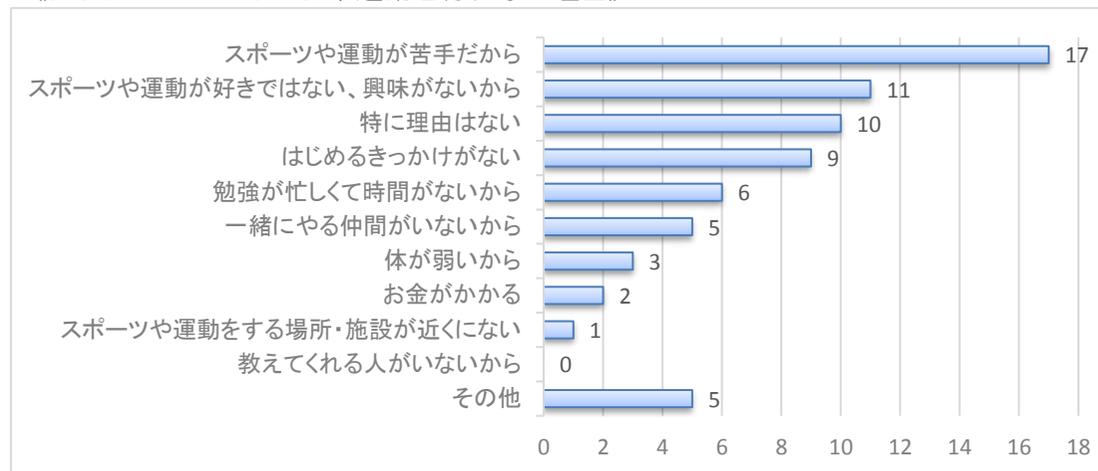


問7で「7. ほとんどスポーツや運動をしない」と回答された方のみにお聞きします。

問7-3. あなたが、運動・スポーツを行わない理由を教えてください。主な理由を3つまで選んで答えて下さい。（3つまで選択）

スポーツや運動が下手・苦手だから	17
スポーツや運動が好きではない、興味がないから	11
特に理由はない	10
はじめるきっかけがない	9
勉強が忙しく時間がないから	6
一緒にやる仲間がないから	5
体が弱いから（病気やけが等でできなかった）	3
お金がかかる	2
スポーツや運動をする場所・施設が近くにない	1
教えてくれる人がいないから	0
その他	5

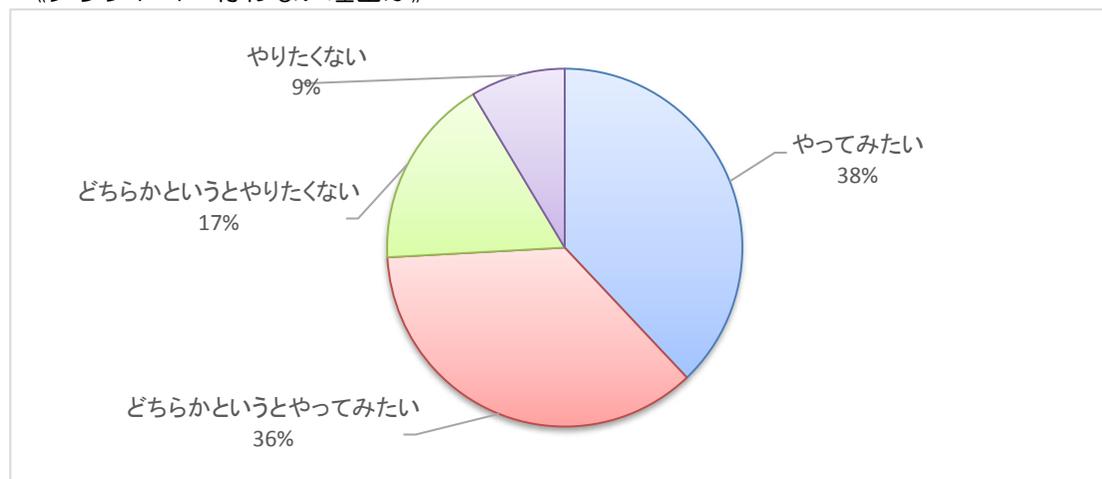
《グラフ7-3 スポーツや運動を行わない理由》



問7-4. 行わない理由が解消されたら、定期的に何かスポーツをやってみたいと思いますか。（1つ選択）

やってみたい	22
どちらかというはやってみたい	21
どちらかというやりたくない	10
やりたくない	5

《グラフ7-4 行わない理由が》

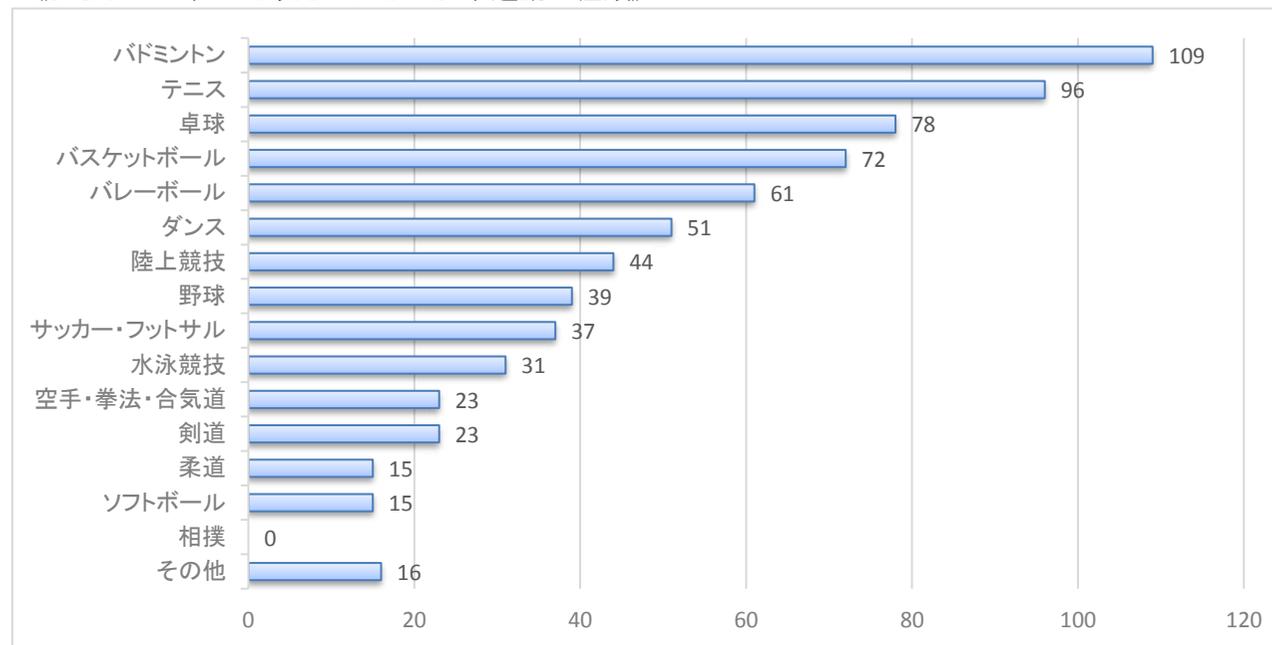


すべての方にお聞きします。

問8. 今後、やってみたいスポーツ・運動はありますか。(あてはまるものすべて)

バドミントン	109
テニス	96
卓球	78
バスケットボール	72
バレーボール	61
ダンス	51
陸上競技	44
野球	39
サッカー・フットサル	37
水泳競技	31
空手・拳法・合気道	23
剣道	23
柔道	15
ソフトボール	15
相撲	0
その他	16

《グラフ8 やってみたいスポーツや運動の種類》



問9. あなたは、スポーツを観戦したり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりすることがありますか。(1つ選択)

実際見に行ったり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりする	115
実際見には行かないが、テレビで見たり、ラジオで聴いたりする	190
スポーツを見たり聴いたりすることはない	50

《グラフ9 スポーツの観戦等の有無》

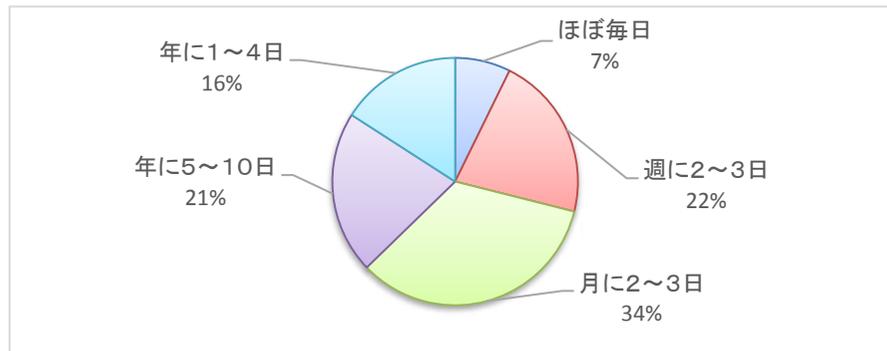


問9で 1 または 2 のいずれかを選ばれた方のみにお聞きします。

問9-1. あなたは、試合や競技大会、練習などのスポーツ観戦をどの程度していますか。(テレビでの観戦含む。)(1つ選択)

ほぼ毎日	22
週に2~3日	65
月に2~3日	102
年に5~10日	64
年に1~4日	48

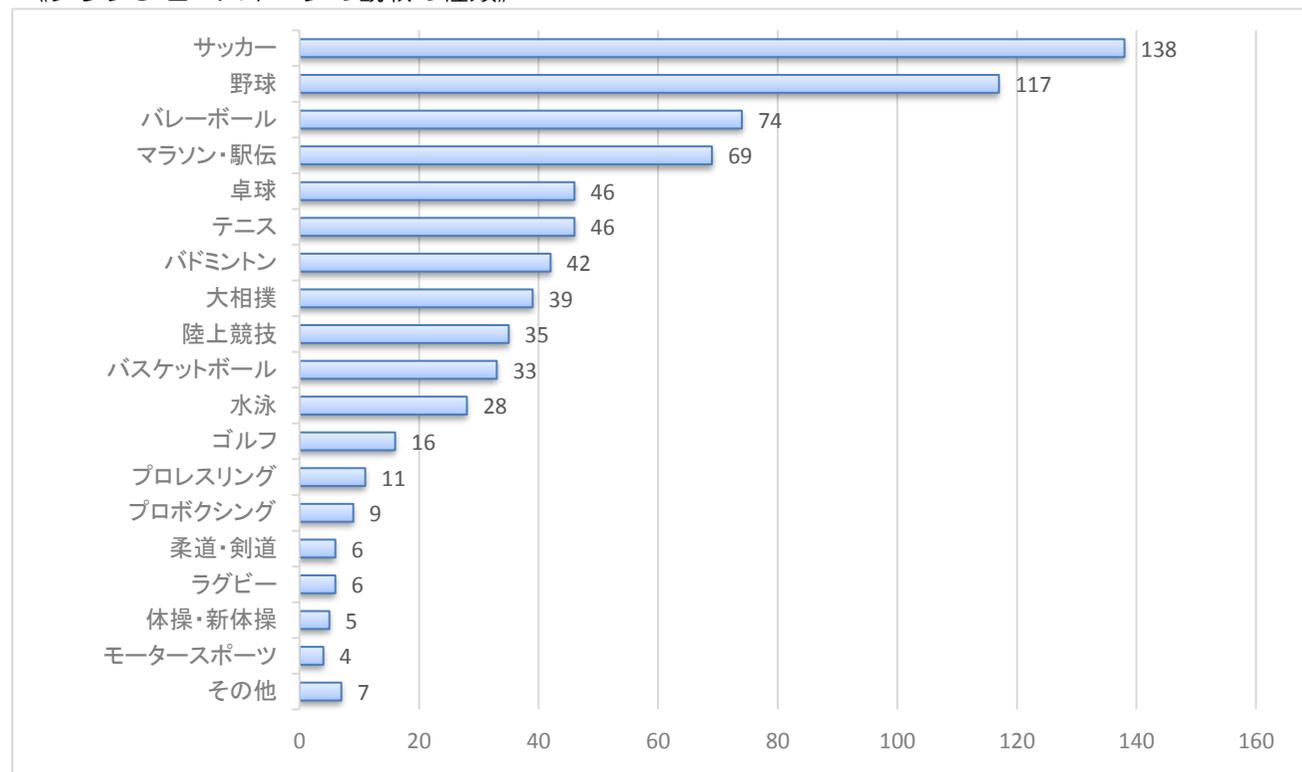
《グラフ9-1 スポーツの観戦等の頻度》



問9-2. 主にどんなスポーツを実際見に行ったり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりしますか。(3つまで選択)

サッカー	138
野球	117
バレーボール	74
マラソン・駅伝	69
卓球	46
テニス	46
バドミントン	42
大相撲	39
陸上競技	35
バスケットボール	33
水泳	28
ゴルフ	16
プロレスリング	11
プロボクシング	9
柔道・剣道	6
ラグビー	6
体操・新体操	5
モータースポーツ	4
その他	7

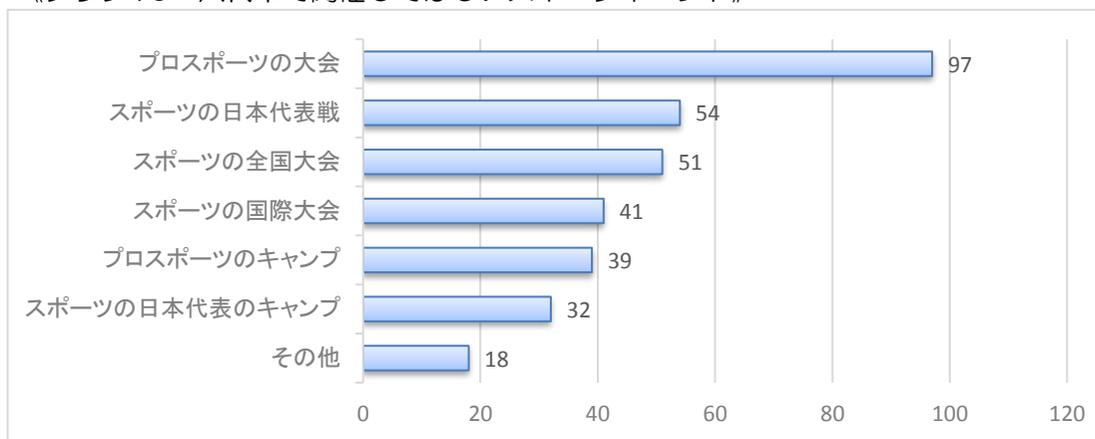
《グラフ9-2 スポーツの観戦の種類》



問10. 次の中で、今後八代市で開催して欲しいスポーツイベントがありますか。(1つ選択)

プロのスポーツ大会	97
スポーツの日本代表戦	54
スポーツの全国大会	51
スポーツの国際大会	41
プロスポーツのキャンプ	39
スポーツの日本代表のキャンプ	32
その他	18

《グラフ10 八代市で開催してほしいスポーツイベント》



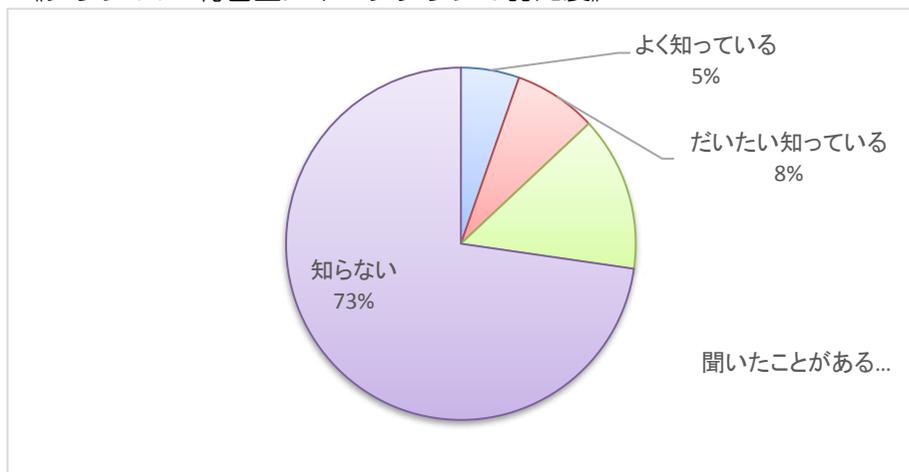
問11. あなたは、総合型地域スポーツクラブについて知っていますか。(1つ選択)

よく知っている	19
だいたい知っている	27
聞いたことがある	50
知らない	256

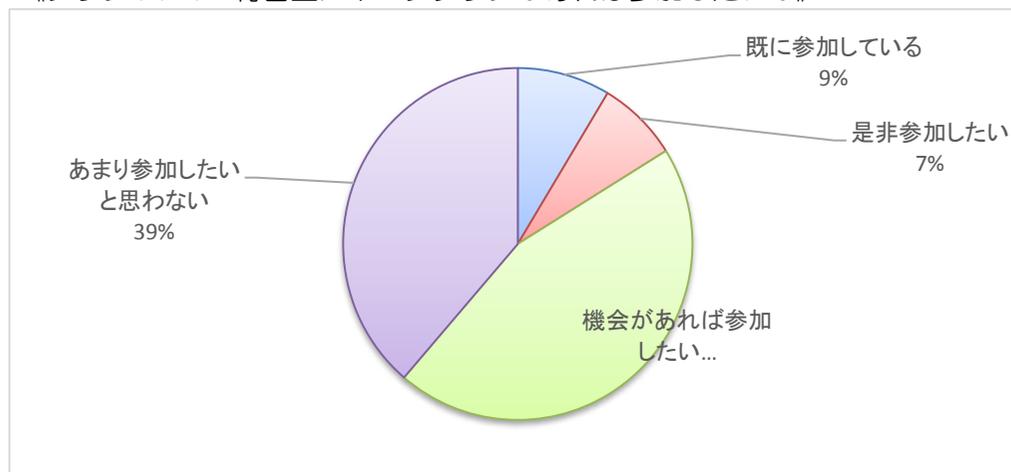
問11-1. 近くに、総合型地域スポーツクラブがあれば参加したいと思いますか。(1つ選択)

既に参加している	8
是非参加したい	7
機会があれば参加したい	42
あまり参加したいと思わない	36

《グラフ11 総合型スポーツクラブの認知度》



《グラフ11-1 総合型スポーツクラブがあれば参加したいか》

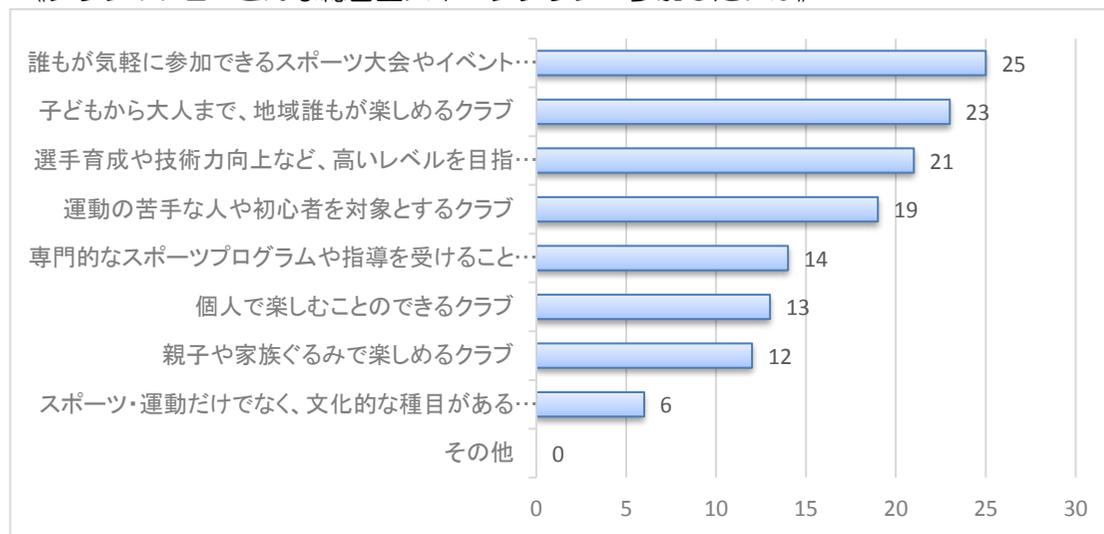


「問11-1」で1～3を選んだ方のみにお聞きします。

問11-2. どのようなスポーツクラブに入りたい・継続したいと思いますか。(3つまで選択)

誰もが気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを行っているクラブ	25
子どもから大人まで、地域の誰もが楽しめるクラブ	23
選手育成や技術力向上など、高いレベルを目指すクラブ	21
運動の苦手な人や初心者を対象とするクラブ	19
専門的なスポーツプログラムや指導を受けることができるクラブ	14
個人で楽しむことのできるクラブ	13
親子や家族ぐるみで楽しめるクラブ	12
スポーツ・運動だけでなく文化的な種目(舞踊・書道など)があるクラブ	6
その他	0

《グラフ11-2 どんな総合型スポーツクラブへ参加したいか》



八代市 スポーツ・運動に関するアンケート 集計結果（一般）

計画の見直しにあたり、市民のみなさんが日頃スポーツや運動についてどのような意見や考えを持ち、またそれらを実施しているか把握するため、スポーツに関するアンケートを平成29年1月～7月の間に実施しました。

調査は、18歳以上の方を対象に、八代市スポーツ推進委員による配布・回収や市職員等協力をいただき調査を行いました。

回答件数は1,912件と、多くの市民の皆さんにご協力をいただきました。

問1 あなたの性別を教えてください。

男性	女性	合計
1076	836	1912

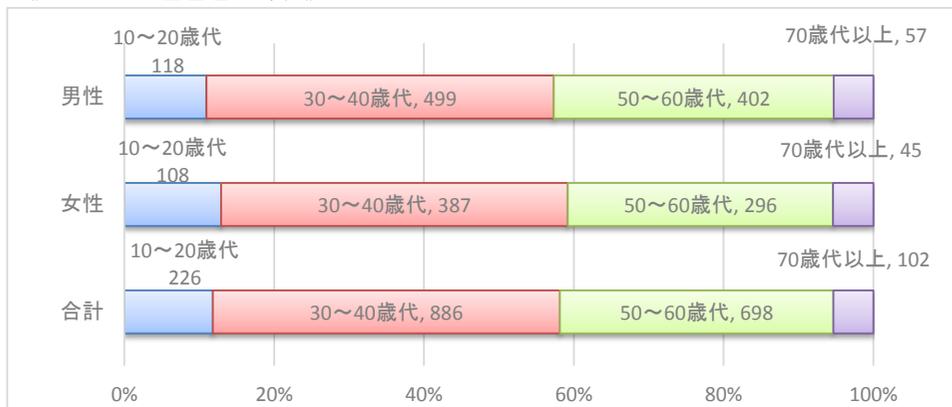
《グラフ1 回答者の男女比》



問2 あなたの年齢を教えてください。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	合計
31	195	327	559	471	227	83	19	1912

《グラフ2 回答者の年代》



問3 あなたがお住まいになっている校区はどこですか。

《表3 校区別回答者数》

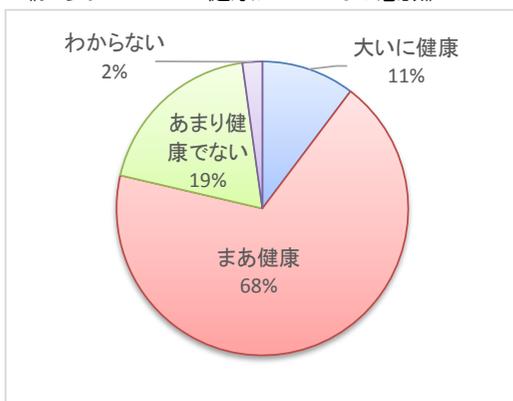
代陽	八代	太田郷	植柳	麦島	松高	八千把	高田	金剛	郡築	昭和
193	84	189	64	94	148	198	84	49	42	44
宮地	宮地東	龍峰	日奈久	二見	坂本	千丁	鏡	東陽	泉	市外
64	16	32	25	39	105	73	236	36	30	64
計										1909

運動・スポーツに関する意識についてお尋ねします

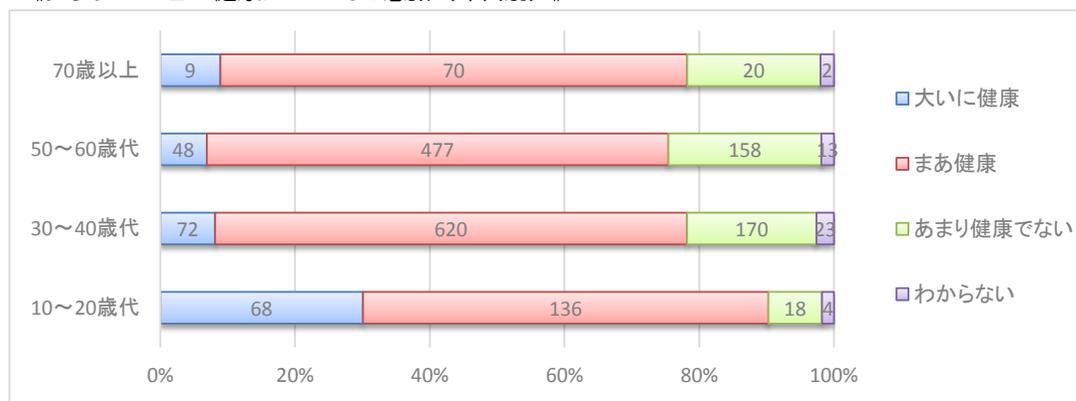
問4 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。

大いに健康	まあ健康	あまり健康でない	わからない
197	1303	366	42

《グラフ4-1 健康についての意識》



《グラフ4-2 健康についての意識（年代別）》

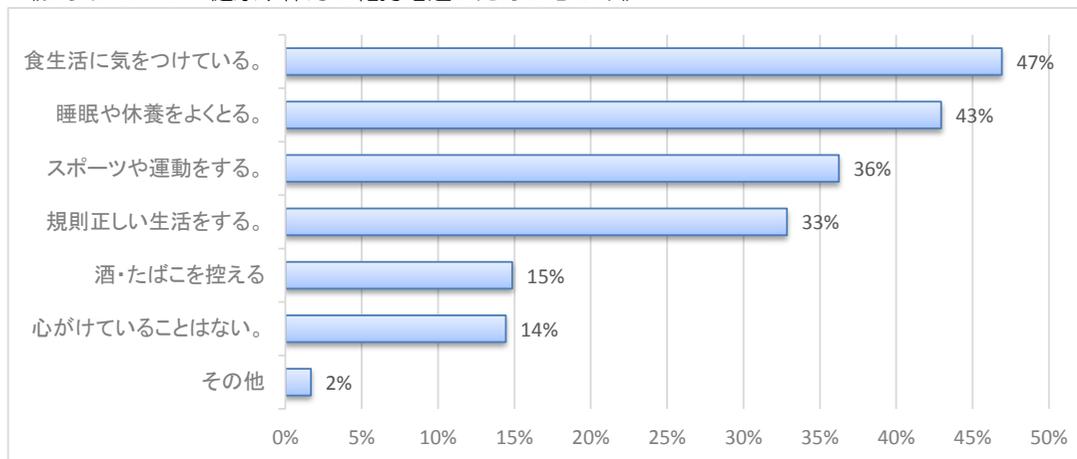


問5 あなたは、日頃ご自分の健康や体力の維持増進のために、何か心掛けていることはありますか？

(あてはまるものすべて)

食生活	897
睡眠や休養	821
スポーツや運動	693
規則正しい生活	628
酒やたばこ	284
心がけなし	276
その他	32

《グラフ5-1 健康や体力の維持増進のための心掛け》

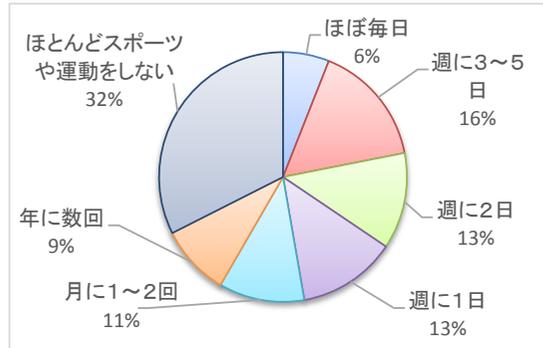


運動・スポーツの実施状況と今後の意向についてお尋ねします

問6 あなたは、スポーツや運動（1回30分以上）をどれぐらいの頻度で行っていますか。

ほぼ毎日	115
週に3～5日	303
週に2日	238
週に1日	245
月に1～2回	213
年に数回	175
ほとんどしない	618

《グラフ6-1 スポーツや運動の実施状況》



《グラフ6-2 スポーツや運動の実施状況（年代別）》



「問6」で1～6を選んだ方のみにお聞きます。

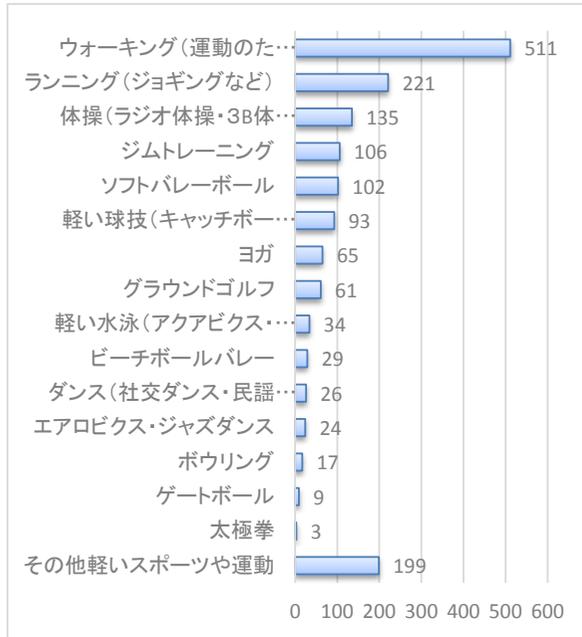
問6-1 具体的にどのようなスポーツや運動を行っていますか？

手軽にできるスポーツや運動	
ウォーキング（運動のための散歩など）	511
ランニング（ジョギングなど）	221
体操（ラジオ体操・3B体操・健康体操）	135
ジムトレーニング	106
ソフトバレーボール	102
軽い球技（キャッチボールなど）	93
ヨガ	65
グラウンドゴルフ	61
軽い水泳（アクアビクス・ウォーキング含む）	34
ビーチバレーボール	29
ダンス（社交ダンス・民謡踊りなど）	26
エアロビクス・ジャズダンス	24
ボウリング	17
ゲートボール	9
太極拳	3
その他軽いスポーツや運動	199

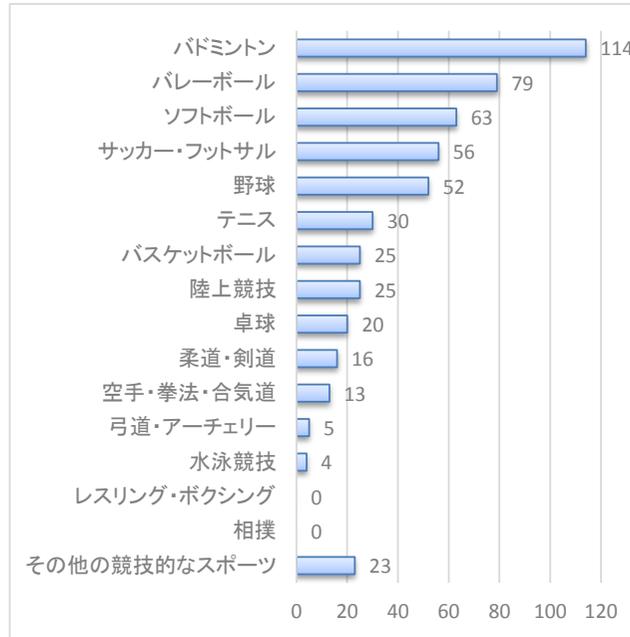
競技的スポーツ	
バドミントン	114
バレーボール	79
ソフトボール	63
サッカー・フットサル	56
野球	52
テニス	30
バスケットボール	25
陸上競技	25
卓球	20
柔道・剣道	16
空手・拳法・合気道	13
弓道・アーチェリー	5
水泳競技	4
レスリング・ボクシング	0
相撲	0
その他競技的なスポーツ	23

野外スポーツ	
ゴルフ	99
サイクリング	41
登山	36
スキー、スノーボード	16
ボート・ヨット・カヌー	0
スケート	0
その他の野外スポーツ	21

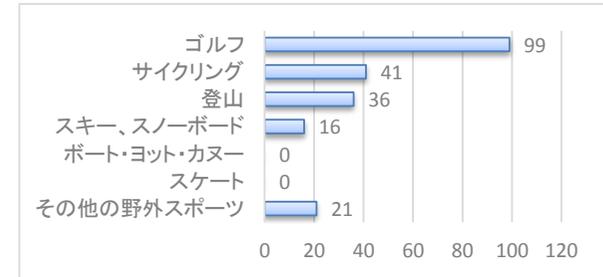
《グラフ6-1-1 手軽にできるスポーツや運動》



《グラフ6-1-2 競技的スポーツ》



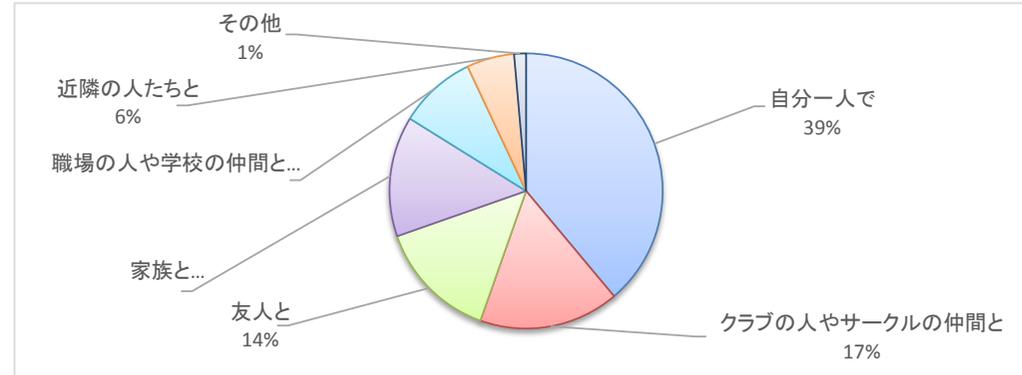
《グラフ6-1-3 野外スポーツ》



問6-2 主にどなたと一緒にスポーツ・運動を行っていますか。

自分一人で	497
クラブの人やサークルの仲間と	212
友人と	182
家族と	181
職場の人や学校の仲間と	117
近隣の人たちと	72
その他	18

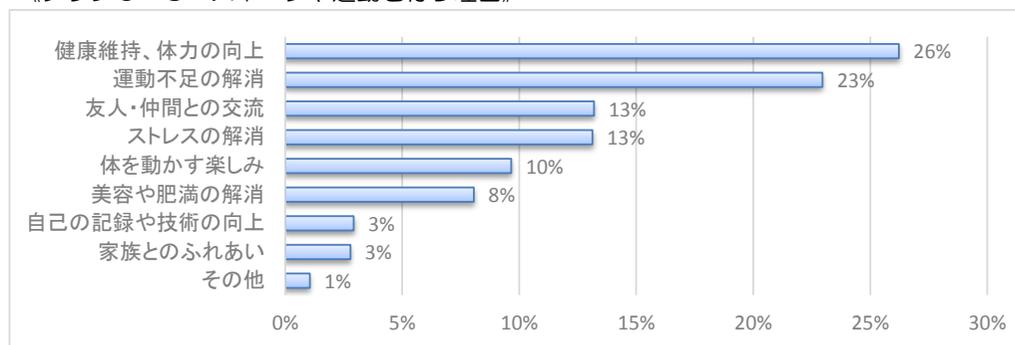
《グラフ6-2 スポーツや運動を誰と行うか》



問6-3 あなたが、スポーツ・運動を行う理由は何ですか。主な理由を3つまで選んで答えて下さい。

健康維持、体力の向上	771
運動不足の解消	675
友人・仲間との交流	388
ストレスの解消	386
体を動かす楽しみ	284
美容や肥満の解消	237
自己の記録や技術の向上	86
家族とのふれあい	82
その他	31

《グラフ6-3 スポーツや運動を行う理由》

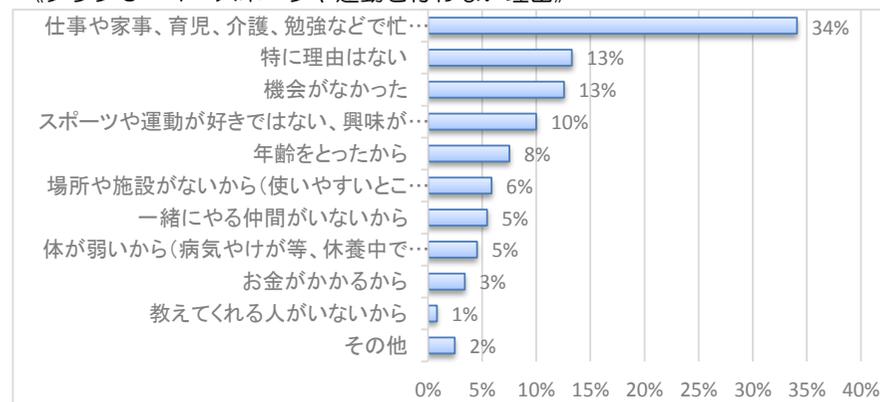


問6で「ほとんどスポーツや運動をしない」と回答された方のみにお聞きします。

問6-4 あなたが、運動・スポーツを行わない理由を教えてください。主な理由を3つまで選んで答えて下さい。

仕事や家事、育児、介護、勉強などで忙しいから時間がないから	331
特に理由はない	129
機会がない	122
スポーツや運動が好きでない、興味がないから	97
年齢をとったから	73
場所や施設がないから（使いやすいところがないから）	57
一緒にやる仲間がいないから	53
体が弱いから（病気やけが等、休養中でできない）	44
お金がかかるから	33
教えてくれる人がいないから	8
その他	24

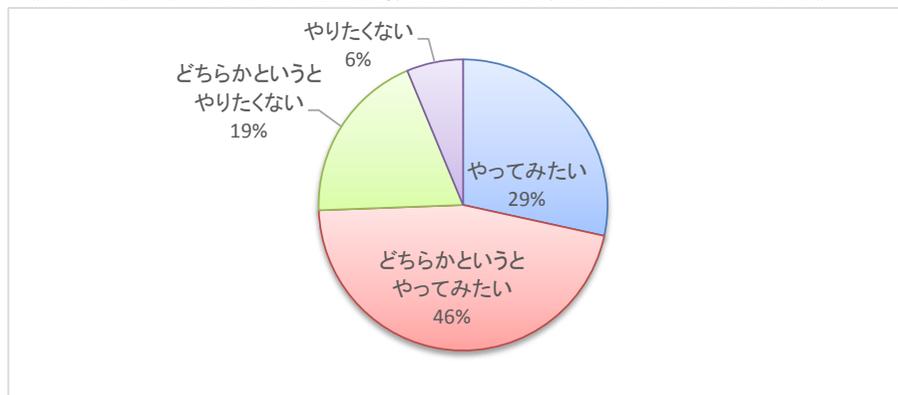
《グラフ6-4 スポーツや運動を行わない理由》



問6-5 行わない理由が解消されたら、定期的に何かスポーツをやってみたいと思いますか。

やってみたい	171
どちらかというやってみたい	277
どちらかというやりたくない	116
やりたくない	38

《グラフ6-5 行わない理由が解消されたら定期的にスポーツを行うか》



すべての方にお聞きます。

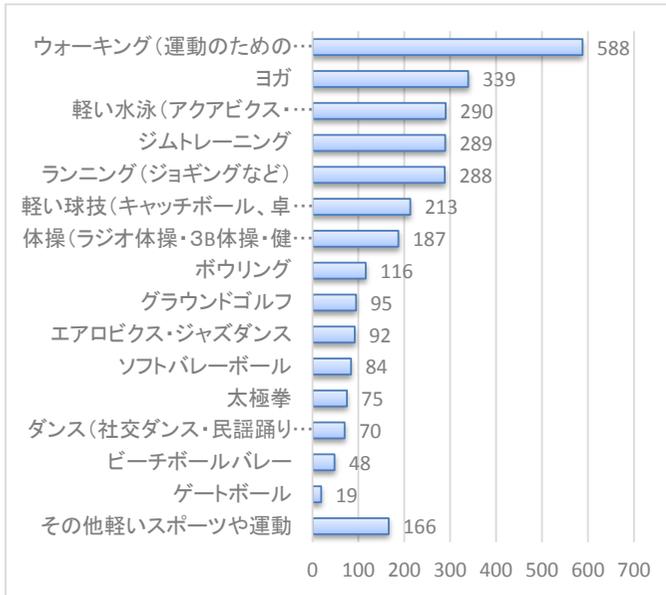
問7 今後、やってみたいスポーツ・運動はありますか。

手軽にできるスポーツや運動	
ウォーキング（運動のための散歩など）	588
ヨガ	339
ジムトレーニング	289
軽い水泳（アクアビクス・ウォーキング含む）	290
ランニング（ジョギングなど）	288
軽い球技（キャッチボールなど）	213
体操（ラジオ体操・3B体操・健康体操）	187
ボウリング	116
グラウンドゴルフ	95
エアロビクス・ジャズダンス	92
ソフトバレーボール	84
太極拳	75
ダンス（社交ダンス・民謡踊りなど）	70
ビーチボールバレー	48
ゲートボール	19
その他軽いスポーツや運動	166

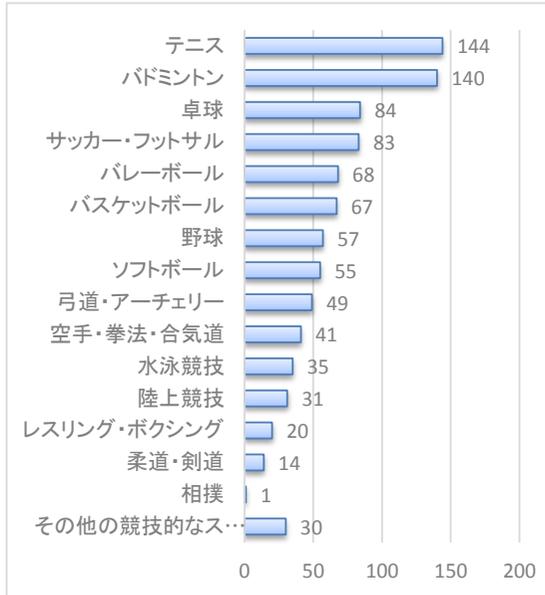
競技的スポーツ	
テニス	144
バドミントン	140
卓球	84
サッカー・フットサル	83
バレーボール	68
バスケットボール	67
野球	57
ソフトボール	55
弓道・アーチェリー	49
空手・拳法・合気道	41
水泳競技	35
陸上競技	31
レスリング・ボクシング	20
柔道・剣道	14
相撲	1
その他競技的なスポーツ	30

野外スポーツ	
登山	156
サイクリング	141
ゴルフ	115
スキー、スノーボード	110
スケート	45
ボート・ヨット・カヌー	33
その他の野外スポーツ	31

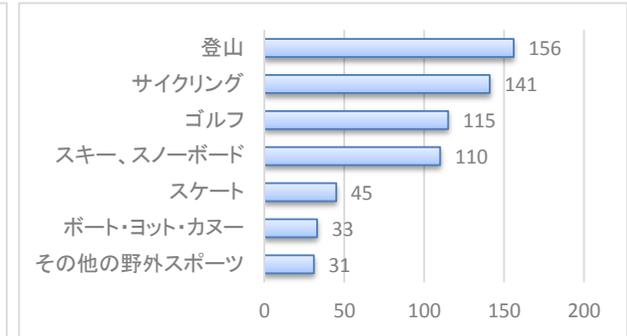
《グラフア-1 手軽にできるスポーツや運動》



《グラフア-2 競技的スポーツ》



《グラフア-3 野外スポーツ》

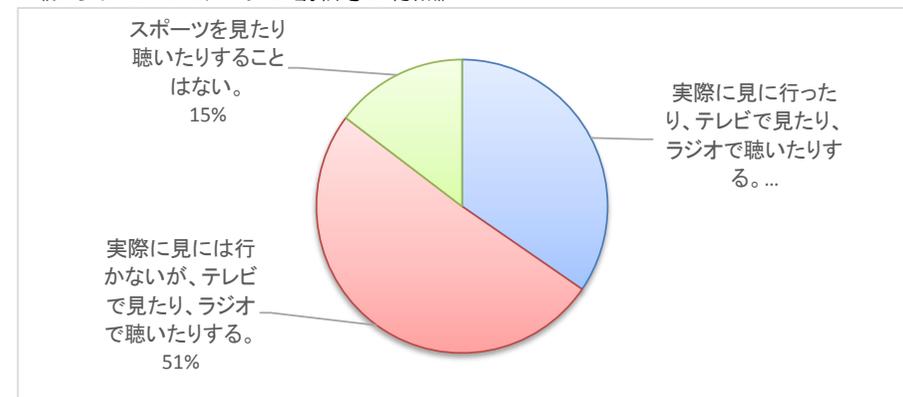


運動・スポーツへの関心とスポーツ関連事業へのニーズについてお尋ねします

問8 あなたは、スポーツを観戦したり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりすることがありますか。
(※ニュースは含まない。)

実際見に行ったり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりする	656
実際見には行かないが、テレビで見たり、ラジオで聴いたりする	963
スポーツを見たり聴いたりすることはない	279

《グラフ8 スポーツの観戦等の有無》



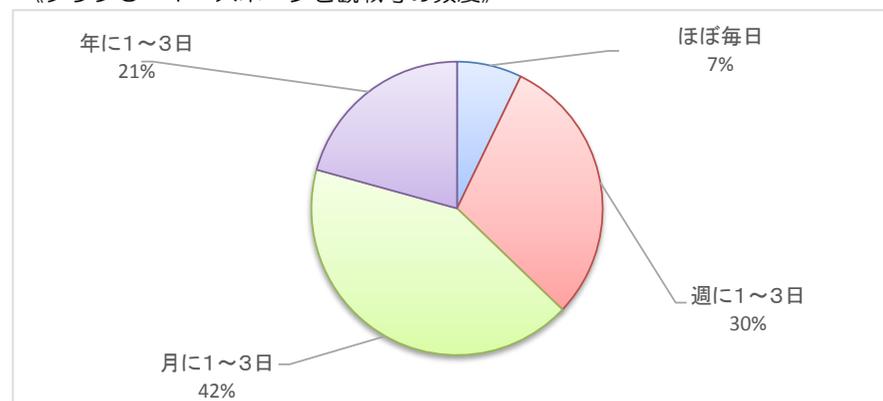
問8で 実際見に行ったり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりすると答えられた方にお聞きします。

問8-1

あなたは、試合や競技大会、練習などのスポーツ観戦をどの程度していますか。
(テレビでの観戦含む。)

ほぼ毎日	週に1～3日	月に1～3日	年に1～3日
115	477	672	331

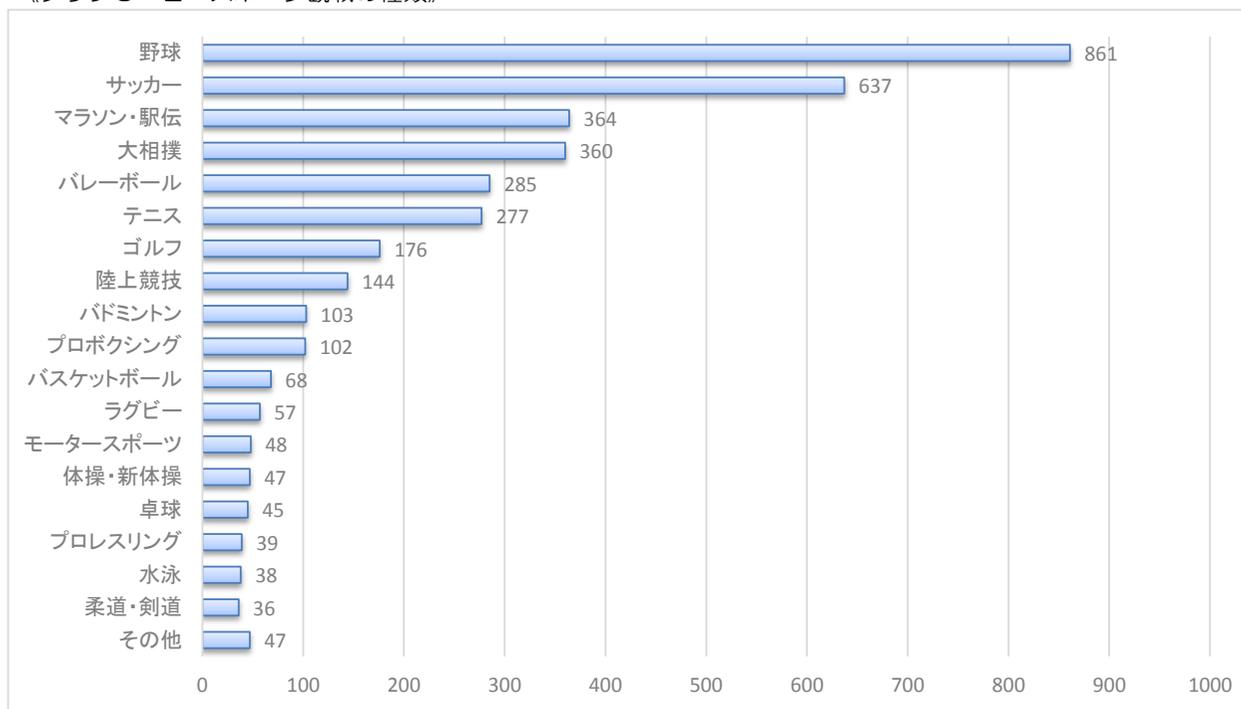
《グラフ8-1 スポーツを観戦等の頻度》



問8-2 主にどんなスポーツを実際見に行ったり、テレビで見たり、ラジオで聴いたりしますか。

野球	861
サッカー	637
マラソン・駅伝	364
大相撲	360
バレーボール	285
テニス	277
ゴルフ	176
陸上競技	144
プロボクシング	102
バドミントン	103
バスケットボール	68
ラグビー	57
モータースポーツ	48
体操・新体操	47
卓球	45
プロレスリング	39
水泳	38
柔道・剣道	36
その他	47

《グラフ8-2 スポーツ観戦の種類》

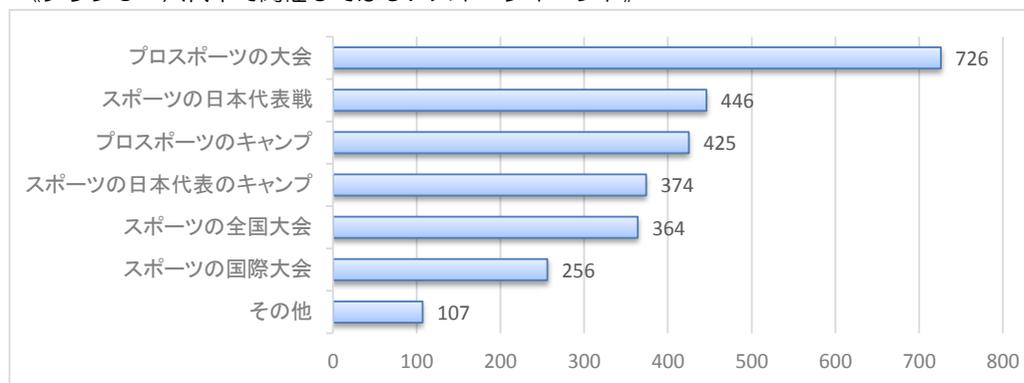


すべての方にお聞きします。

問9 次の中で、今後八代市で開催して欲しいスポーツイベントがありますか。

プロのスポーツ大会	726
スポーツの日本代表戦	446
プロスポーツのキャンプ	425
スポーツの日本代表のキャンプ	374
スポーツの全国大会	364
スポーツの国際大会	256
その他	107

《グラフ9 八代市で開催してほしいスポーツイベント》

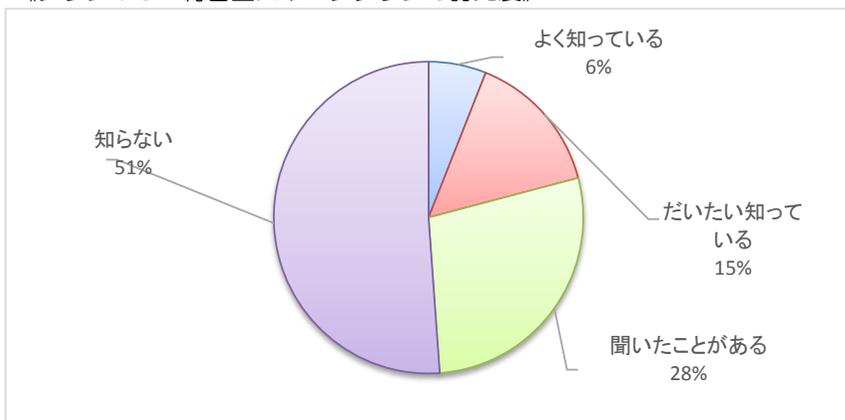


総合型地域スポーツクラブについてお尋ねします

問10 あなたは、総合型地域スポーツクラブについて知っていますか。

よく知っている	115
だいたい知っている	284
聞いたことがある	533
知らない	976

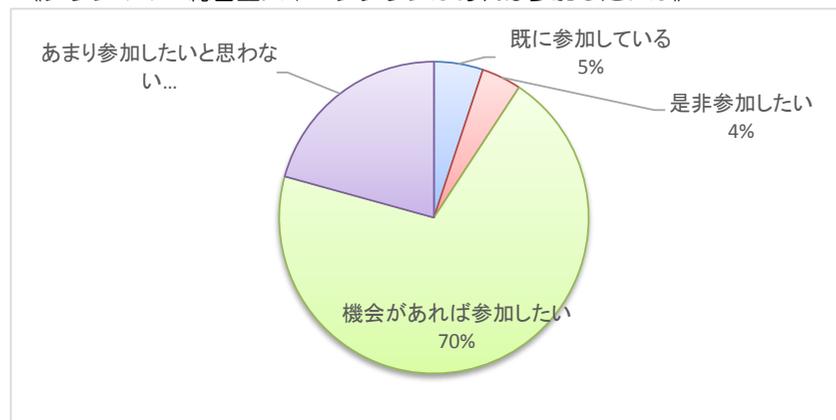
《グラフ10 総合型スポーツクラブの認知度》



問11 近くに、総合型地域スポーツクラブがあれば参加したいと思いますか。

既に参加している	47
是非参加したい	38
機会があれば参加したい	641
あまり参加したいと思わない	190

《グラフ11 総合型スポーツクラブがあれば参加したいか》

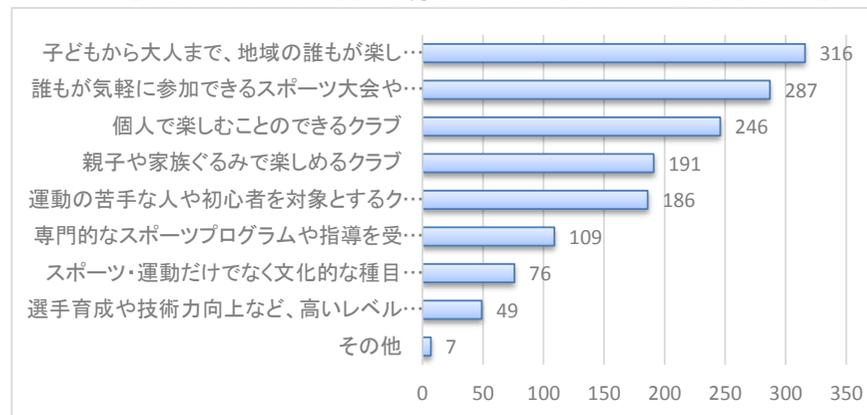


「問11」で参加している、参加したいと回答された方にお聞きします。

問11-1 どのようなスポーツクラブに入りたい・継続したいと思いますか。

子どもから大人まで、地域の誰もが楽しめるクラブ	316
誰もが気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを行っているクラブ	287
個人で楽しむことのできるクラブ	246
親子や家族ぐるみで楽しめるクラブ	191
運動の苦手な人や初心者を対象とするクラブ	186
専門的なスポーツプログラムや指導を受けることができるクラブ	109
スポーツ・運動だけでなく文化的な種目（舞踊・書道など）があるクラブ	76
選手育成や技術向上など、高いレベルを目指すクラブ	49
その他	7

《グラフ11-1 どのような総合型スポーツクラブへ参加したいか》



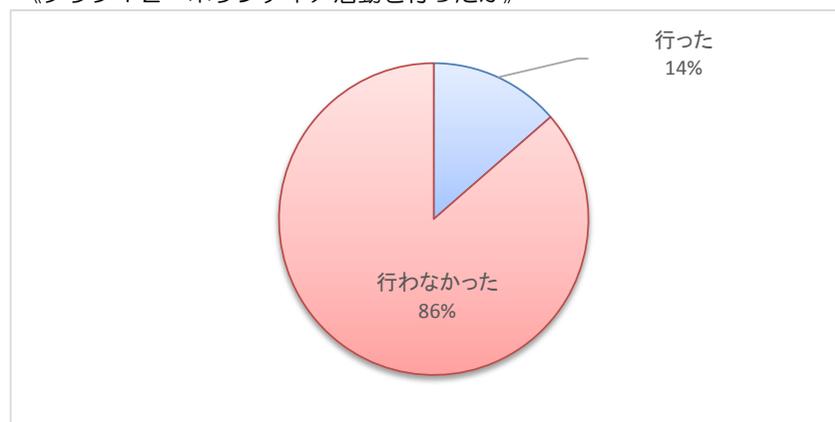
スポーツボランティア活動についてお尋ねします

（※ボランティア活動とは、競技者を支援したり、大会運営に協力したりすることです。）

問12 あなたは、この1年間にスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

行った	260
行わなかった	1647

《グラフ12 ボランティア活動を行ったか》

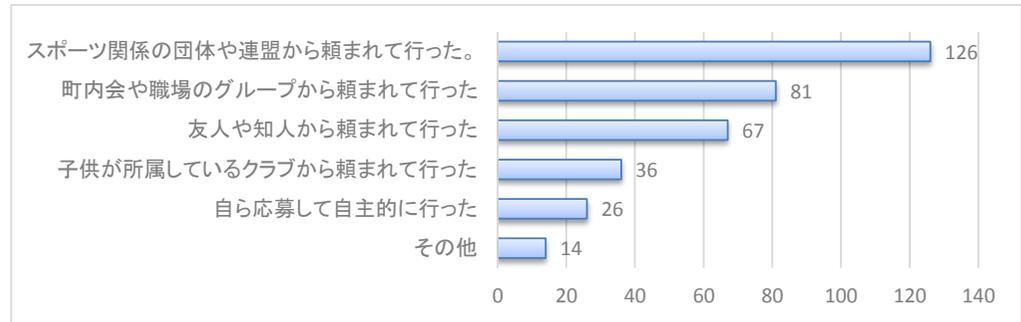


「問12」で「行った」と回答された方のみにお聞きします。

問12-1 どのような経緯で行いましたか。

スポーツ関係の団体や連盟から頼まれて行った	126
町内会や職場のグループから頼まれて行った	81
友人や知人に頼まれて行った	67
子どもが所属しているクラブから頼まれて行った	36
自ら応募して自主的に行った	26
その他	14

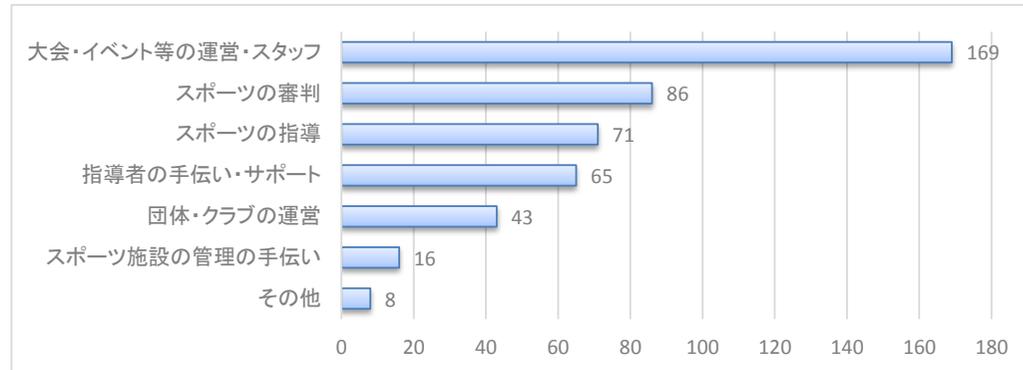
《グラフ12-1 どのような経緯でスポーツボランティア活動へ参加したか》



問12-2 具体的にどのような内容のボランティアを行いましたか。

大会・イベント等の運営・スタッフ	169
スポーツの審判	86
スポーツの指導	71
指導者の手伝い・サポート	65
団体・クラブの運営	43
スポーツ施設の管理の手伝い	16
その他	8

《グラフ12-2 どのような内容のスポーツボランティア活動へ参加したか》

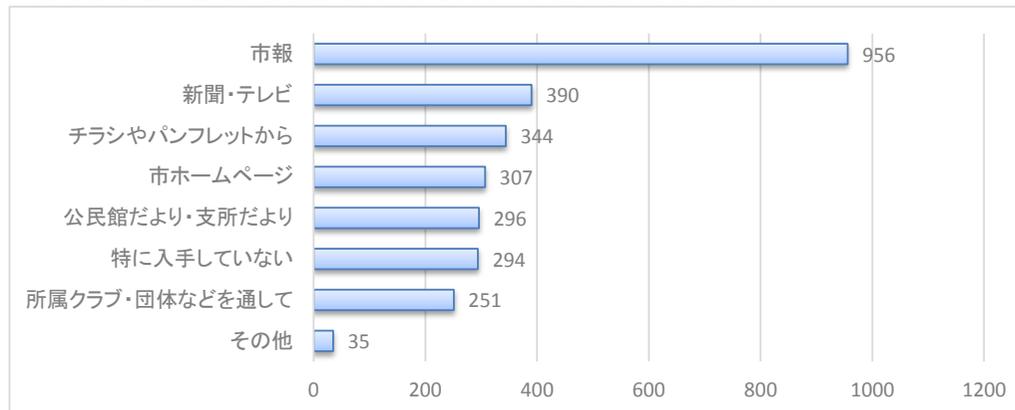


スポーツに関する情報についてお尋ねします

問13 あなたは、八代市のスポーツに関する情報をどのように入手していますか。

市報	956
新聞・テレビ	390
チラシやパンフレットから	344
市ホームページ	307
特に入手していない	294
公民館だより・支所だより	296
所属クラブ・団体などを通して	251
その他	35

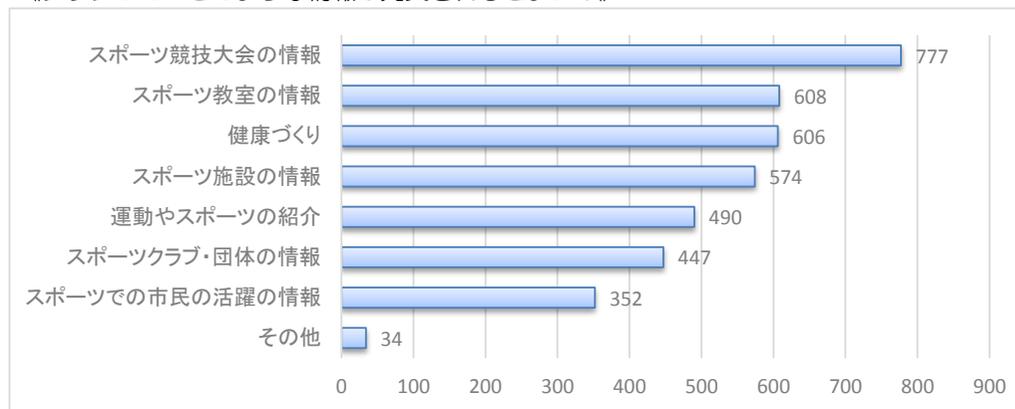
《グラフ13 どのようなして八代市のスポーツ情報を入手するか?》



問14 どのような情報が充実されると良いと思いますか。

スポーツ競技大会の情報	777
スポーツ教室の情報	608
健康づくり	606
スポーツ施設の情報	574
スポーツや運動の紹介	490
スポーツクラブ・団体の情報	447
スポーツでの市民の活躍の情報	352
その他	34

《グラフ14 どのような情報が充実されるとよいか?》

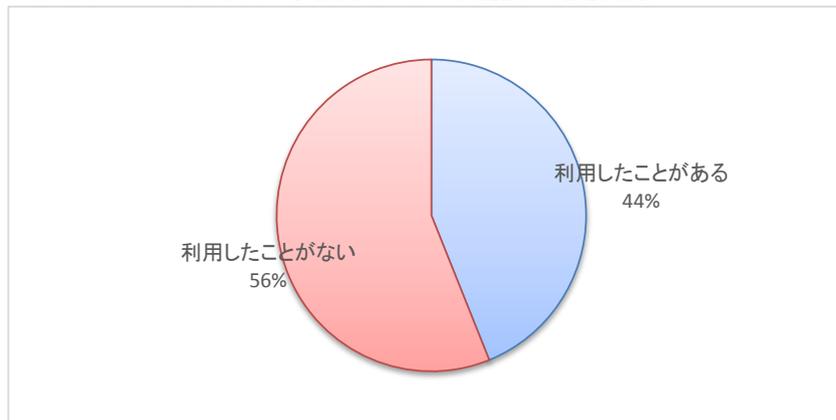


市のスポーツ施設についてお尋ねします

問15 あなたは、この1年間に八代市にある公共スポーツ施設（総合体育館、野球場、テニスコート、武道館、弓道場、各町体育館など）を利用したことがありますか？

利用したことがある	824
利用したことがない	1053

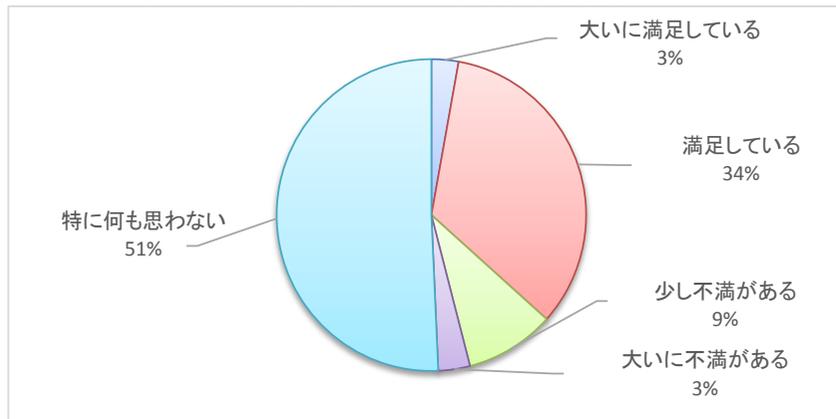
《グラフ15 八代市にある公共スポーツ施設の利用状況》



問16 公共スポーツ施設の利用に満足していますか？

大いに満足している	52
満足している	622
少し不満がある	172
大いに不満がある	61
特に何も思わない	933

《グラフ16 八代市にある公共スポーツ施設の満足度》



「問16」で「不満がある」と回答された方にお聞きます。

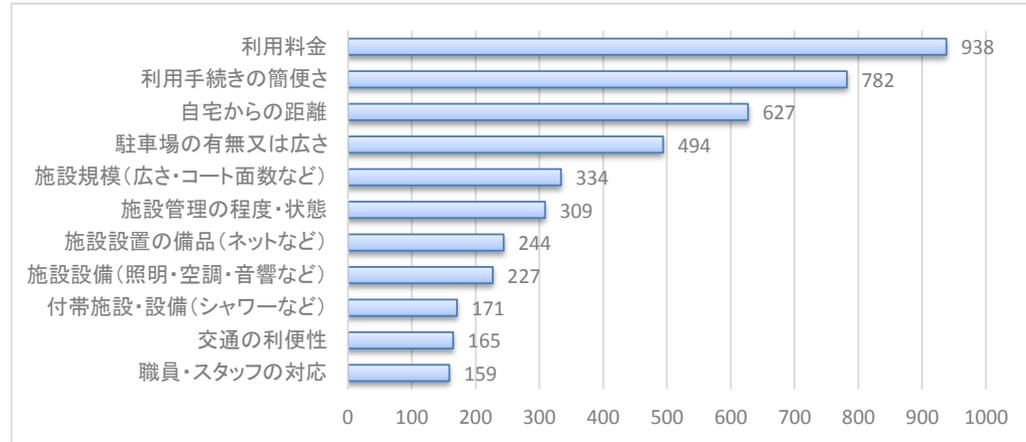
問16-1. 理由を教えてください。

※多数（詳細別紙のとおり）

問17 公共施設を利用する上での、あなたの重要視しているものを選んでください。

利用料金	938
利用手続きの簡便さ	782
自宅からの距離	627
駐車場の有無又は広さ	494
施設規模（広さ・コート面積など）	334
施設管理の程度・状態	309
施設設備の備品（ネットなど）	244
施設設備（照明・空調・音響など）	227
付帯施設・設備（シャワーなど）	171
交通の利便性	165
職員・スタッフの対応	159

《グラフ17 八代市にある公共スポーツ施設利用に対して何を重要視するか》

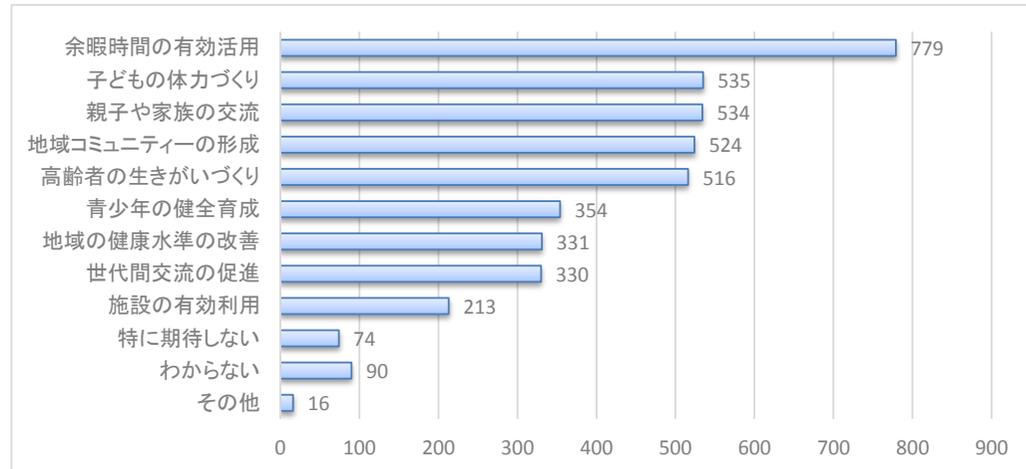


市のスポーツ施策についてお尋ねします

問18 あなたは社会生活の中で、運動やスポーツにどのような効果を期待しますか？

余暇時間の有効活用	779
子どもの体づくり	535
親子や家族の交流	534
地域コミュニティの形成	524
高齢者の生きがいづくり	516
青少年の健全育成	354
地域の健康水準の改善	331
世代間交流の促進	330
施設の有効利用	213
わからない	90
特に期待しない	74
その他	16

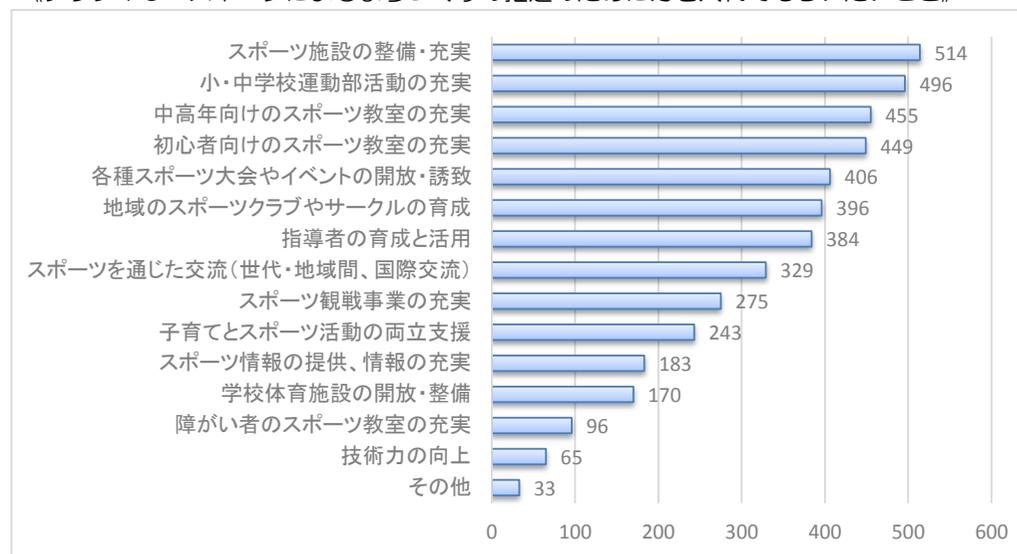
《グラフ18 運動やスポーツに対してどのような効果を期待するか》



問19 スポーツによるまちづくりを推進させるため、市に今後どのようなことに力を入れてもらいたいですか？

スポーツ施設の整備・充実	514
小・中学校運動部活動の充実	496
中高年向けのスポーツ教室の充実	455
初心者向けのスポーツ教室の充実	449
各種スポーツ大会やイベントの開放・誘致	406
地域のスポーツクラブやサークルの育成	396
指導者の育成と活用	384
スポーツを通じた交流（世代・地域間・国際交流）	329
スポーツ観戦事業の充実	275
子育てとスポーツ活動の両立支援	243
スポーツ情報の提供、情報の充実	183
学校体育施設の開放・整備	170
障がい者のスポーツ教室の充実	96
技術力の向上	65
その他	33

《グラフ19 スポーツによるまちづくりの推進のために力を入れてもらいたいこと》



八市スポ振第689号
平成30年3月12日

八代市スポーツ推進審議会

会 長 中 川 保 敬 様

八代市長 中 村 博 生

八代市スポーツ振興計画の見直しについて（諮問）

八代市スポーツ推進審議会設置条例第2条の規定に基づき、八代市スポーツ振興計画の見直しについて、貴審議会に諮問します。

【審議事項】

八代市スポーツ振興計画の見直しについて

【諮問理由】

市民一人ひとりがスポーツに親しみ、実践することで、心身の健康づくりを推進し、活力あふれる地域づくりを行うことを目的に、平成21年度から平成29年度までの9年間の本市のスポーツ振興と今後の方向性を示す「八代市スポーツ振興計画」を平成21年3月に策定し様々な事業を展開してきました。

計画前期、国においては平成22年8月に「スポーツ立国戦略」の策定、平成23年8月にはスポーツ振興法が50年ぶりに全部改正され、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとされる「スポーツ基本法」が施行されるなど、スポーツを取り巻く環境に大きな変化がありました。

本市としてはこれまでの施策の検証や評価を実施、新たな課題及び市民ニーズを的確に把握するとともに、国が地方自治体に期待する役割等を踏まえ、市民自らがスポーツに親しめる環境づくりを行い、市の主要施策に掲げる「スポーツによるまちづくり」の更なる推進を図っていくため、計画の見直しについて意見を求め総括的にご検討いただきたく諮問いたします。

平成30年 9月20日

八代市長 中 村 博 生 様

八代市スポーツ推進審議会

会 長 中 川 保 敬

八代市スポーツ振興計画の見直しについて（答申）

八代市スポーツ推進審議会設置条例第2条に基づき、平成30年3月12日
付け八市スポ振第689号にて当審議会に諮問いただきましたこのことについ
て、別添のとおり答申いたします。